

案件

市立ひらかた病院における 新型コロナウイルス感染症への対応報告について

市立ひらかた病院

総務課・経営企画課・医事課

1. 政策等の背景・目的及び効果

新型コロナウイルス感染症については、令和2年(2020年)1月に国内初の感染者が確認されて以降、長期に渡って拡大と縮小を繰り返し、市民生活に脅威を与えてきました。

この間、本院では、大阪府や枚方市保健所、地域の医療機関等と緊密な連携を図りつつ、感染症患者に適切な医療を提供することで、北河内医療圏における唯一の市立病院かつ第二種感染症指定医療機関としての責務を果たすべく、様々な取り組みを行ってきました。

新型コロナウイルス感染症は本年5月8日に感染症法上の分類が5類に引き下げられました。

5類への移行後も、今夏には第9波と考えられる感染拡大がみられるなど、依然として終息には至っていませんが、今後、起こりうる新たな感染症にも今回の経験を活かし適切に対応できるよう、この間の医療体制や取り組み等を取りまとめ、報告するものです。

2. 内容

冊子「新型コロナウイルス感染症への対応報告書」を作成します。

<主な内容>

感染者数の推移、社会動向と市立ひらかた病院の対応、発生初期の取り組み、入院に係る本院の取り組み、外来に係る本院の取り組み、院内感染防止対策、国・大阪府からの補助金及びその活用、診療報酬上の臨時的な取扱い、本院職員への対応、今後の感染症への取り組みについて

3. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
施策目標 8 安心して適切な医療が受けられるまち



4. 関係法令・条例等

健康保険法

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

新型コロナウイルス感染症への対応報告書

令和2年(2020年)1月～令和5年(2023年)5月7日

市立ひらかた病院

新型コロナウイルス感染症については、令和2年(2020年)1月に国内初の感染者が確認されて以降、長期に渡って拡大と縮小を繰り返し、市民生活に脅威を与えてきました。

この間、本院では、大阪府や枚方市保健所、地域の医療機関等と緊密な連携を図りつつ、感染症患者に適切な医療を提供することで、北河内医療圏における唯一の市立病院かつ第二種感染症指定医療機関としての責務を果たすべく、様々な取り組みを行ってきました。

新型コロナウイルス感染症は本年5月8日に感染症法上の分類が5類に引き下げられました。

5類への移行後も、今夏には第9波と考えられる感染拡大がみられるなど、依然として終息には至っていませんが、今後、起こりうる新たな感染症にも今回の経験を活かし適切に対応できるよう、この間の医療体制や取り組み等を取りまとめ、報告いたします。

も く じ

全国と大阪府の新型コロナウイルス感染症新規陽性者数の推移	1
市立ひらかた病院 新型コロナウイルス感染症関係指定一覧	2
社会動向と市立ひらかた病院の対応	3
発生初期の取り組み	
シミュレーション訓練の実施	8
各種マニュアルの作成・整備	8
正面玄関での検温開始	9
職員によるビニールガウンの作製	9
入院関係	
確保病床の変遷	10
新型コロナウイルス感染症による入院患者数	12
入院患者(陽性)の内訳	14
小児・妊産婦の受入れ	15
感染症病床への入院ルート	16
入院病床の対応	17
感染症病床の看護師	18
外来関係	
発熱外来の設置	19
新型コロナウイルス感染症に係る外来患者数	20
発熱外来における検査の状況	21
電話診療	21

院内感染防止の取り組み	22
その他の取り組み	24
国・大阪府からの補助金及びその活用について	
体制整備等のための機器・物品等に係る補助金	25
病床確保料（空床補償）について	29
診療報酬上の臨時的な取扱いについて	30
職員への対応について	
手当の支給について	32
特別休暇の付与について	33
職員へのメンタルヘルスケアについて	33
感染制御チーム（ICT）による各種サポートについて	34
ワクチン予防接種について	34
今後の感染症への取り組みについて	
新型コロナウイルス感染症について	35
新興感染症への備えについて	35
本院へのご寄付について	36



全国と大阪府の新型コロナウイルス感染症新規陽性者数の推移

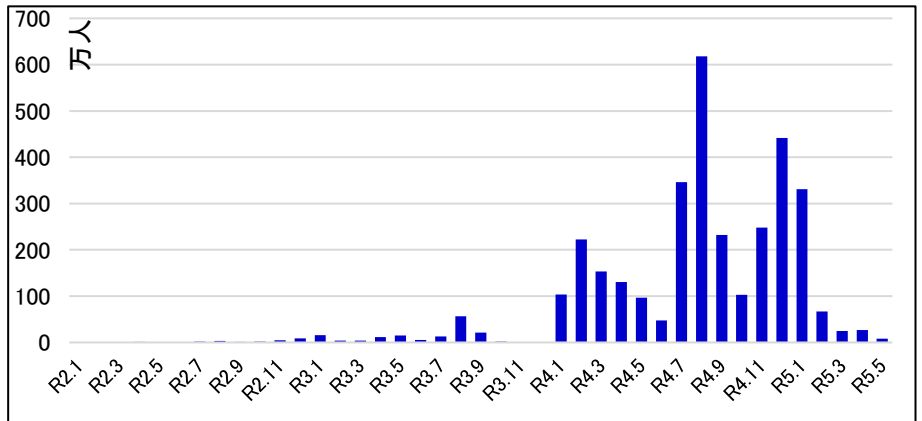
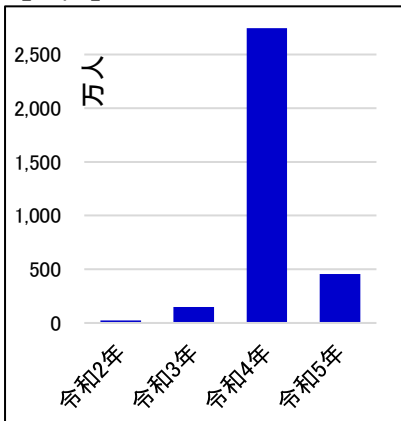
(単位：人)

月	令和2年(2020年)		令和3年(2021年)		令和4年(2022年)		令和5年(2023年)	
	全国	大阪府	全国	大阪府	全国	大阪府	全国	大阪府
1月	14	1	154,777	13,721	1,032,794	138,175	3,308,881	223,263
2月	213	3	41,824	3,365	2,224,184	305,088	666,637	44,320
3月	1,936	240	42,286	5,080	1,534,671	147,714	249,322	14,220
4月	11,952	1,381	117,400	28,978	1,307,011	100,338	264,713	18,287
5月	2,439	158	153,565	18,527	965,956	78,690	81,654	5,992
6月	1,741	50	52,939	3,676	478,487	40,373	(5/7まで)	
7月	17,379	2,223	126,664	10,752	3,464,083	356,925		
8月	31,950	4,486	567,485	54,586	6,181,276	546,596		
9月	15,031	2,051	210,043	30,830	2,322,966	178,305		
10月	17,528	2,160	17,237	2,916	1,030,004	70,832		
11月	47,153	7,517	4,307	668	2,482,001	121,775		
12月	86,596	9,765	5,683	656	4,415,616	256,490		
合計	233,932	30,035	1,494,210	173,755	27,439,049	2,341,301	4,571,207	306,082

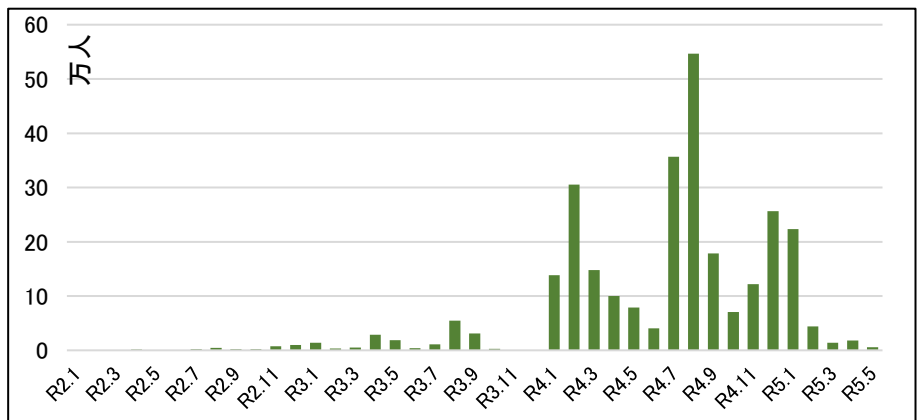
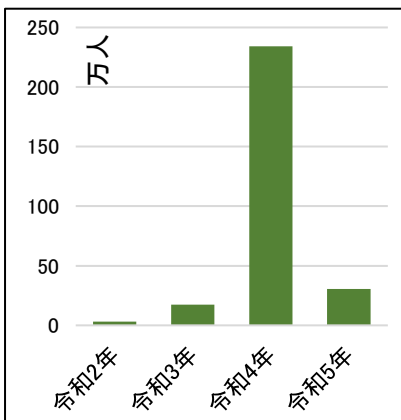
総合計	33,738,398	2,851,173
-----	------------	-----------

出典元：厚生労働省『データからわかる－新型コロナウイルス感染症情報－』

【全国】



【大阪府】



市立ひらかた病院 新型コロナウイルス感染症関係指定一覧

指定日	名 称	機 能
令和2年 3月 23日	軽症・中等症受入医療機関	入院患者（軽症・中等症）受入医療機関
4月 1日	特定機能病院	ECMO 使用患者延べ3人以上の月、又は人工呼吸器使用患者延べ10人以上の月がある医療機関（空床補償上乘せ）
8月 24日	重点医療機関	新型コロナウイルス感染症患者専用の病院や病棟を設定する医療機関
10月 23日	類似症状患者診療医療機関	新型コロナウイルス感染症に類似する呼吸器症状がある患者を診療する医療機関（救急・周産期・小児医療体制整備補助金の要件）
10月 30日	診療・検査医療機関	発熱患者の診療・検査が可能な医療機関
令和3年 7月 8日	後遺症受診可能医療機関	療養終了後に後遺症の症状がある患者に対して診療を行う医療機関
7月 9日	中等症・重症一体型病院②	中等症・重症を院内において、一体的に治療することが可能な医療機関（中等症までの救急搬送対応、及び院内重症化患者対応）
8月 20日	外来診療病院	自宅療養者に対し、外来診療を行う医療機関
10月 5日	抗体治療外来医療機関	中和抗体薬の投与を実施する医療機関
10月 5日	抗体治療バックアップ病院	地域外来等で中和抗体薬を投与した患者の緊急時に備えて、入院受入を行う等バックアップする医療機関
令和4年 6月 30日	軽症・中等症受入医療機関	入院患者（軽症・中等症）受入医療機関 ※重症取り下げ
7月 20日	大阪府小児地域医療センター	時間外でも小児患者の診療・受入を行う医療機関

社会動向と市立ひらかた病院の対応

日付	社会動向	当院の動き
令和元年 12月	中国の湖北省・武漢で原因不明の肺炎患者確認	
令和2年 1月 15日		7階東病棟の空調設備に関して調査、確認。現在、中性能フィルターを設置、準HEPAフィルターを設置
1月 15日	国内初の感染者確認	
1月 23日		7階東病棟感染症病床エリアでシミュレーション訓練（8床対応）
1月 31日		初の疑似症患者入院
2月 5日	ダイヤモンドプリンセス号横浜沖14日間船上隔離	帰国者・接触者センター設置
2月 13日	国内初の死者、感染経路不明相次ぐ	
2月 19日		面会制限開始
2月 27日	全国学校臨時休校	
2月 28日		7階東病棟入院調整
3月 3日		初の陽性患者入院 7階東病棟一般病床閉鎖
3月 12日	WHOがパンデミック認定	
3月 16日		電話診療を開始
3月 19日		一般病棟の2床を感染症病床化（感染症対応病床が10床に）
3月 25日	週末の外出自粛要請	
3月 30日	大阪府フォローアップセンターによる入院調整開始	Excelで症例情報記録開始
4月 1日	大阪府から受入病床の拡大要請	
4月 3日		対応する主治医チーム立ち上げ
4月 6日		大阪府から拡大要請に20床で回答
4月 7日	緊急事態宣言発出（5/6まで）	実質的に20床の受入対応を開始
4月 10日		6階西病棟を閉鎖 7階東病棟に重症管理患者対応部屋（HCU）設置 正面玄関（風除室）での検温開始
4月 13日		面会を禁止 発熱外来（Hブロック）運用開始
4月 18日	国内感染者1万人	

日付	社会動向	当院の動き
令和2年 4月 24日		ゴールデンウィーク体制整備 物品管理委員会設置、全職員マスクの着用、医療従事者へゴーグル配布 定期清掃とチェック表作成(10時、14時、20時は高頻度接触面をルビスタ清拭する。全部門、パソコン使用前はルビスタ消毒徹底) H-3・Aブロックの診察運用マニュアル作成
4月 27日		富士レビオ、新型コロナウイルス感染症の抗原検査使用承認申請
4月 30日		7階東病棟 物品 N95 マスク 4000枚・フェイスシールド1500枚・帽子7000枚・プラスチックエプロン1300枚+2000枚・アイソレーションガウン1000枚
5月 4日	緊急事態宣言延長 5/31まで	
5月 21日	緊急事態宣言解除	外来診療を段階的に通常診療に戻していく
		院内PCR検査(外注)を開始
5月 26日		出産後の面会制限(検査施行にて原則1名) 感染担当の医師の配置、週末の事務体制を強化(事務職休日出勤) 院内イベント中止 電話診療開始 職員に携帯アルコール配布
6月 1日		6階西病棟を開棟
7月 5日	大阪府から感染拡大フェーズ毎の病床運用計画及び重点医療機関・協力医療機関の指定にかかる意向確認調査	受入病床をフェーズ2(感染拡大期)～フェーズ3(更なる感染拡大期)は26床、フェーズ4(想定を超える感染拡大期)は30床で回答
		正面玄関前にサーマルカメラを設置し、サーモグラフィによる検温開始
7月 10日	大阪府が病床確保計画を策定 フェーズ毎の病床数を設定	
7月 20日		職員に感染防止対策の徹底を再周知
8月 3日	大阪府が病床確保計画運用開始	大阪府の重点医療機関に指定
		26床の受入対応(フェーズ2)を開始
9月 1日		地域外来・検査センター運用開始
9月 16日		フェーズ2に移行

日付	社会動向	当院の動き
令和2年 10月 9日	大阪府からフェーズ4における病床確保（軽症中等症）の検討依頼	フェーズ1に移行
10月 14日	大阪府が病床確保計画改定	
	確保病床数を拡大	
10月 26日		依頼に対してフェーズ4において42床まで確保することを回答
10月 30日		フェーズ2に移行
		大阪府の診療・検査医療機関に指定
11月 9日		フェーズ3に移行
11月 19日		フェーズ4に移行
		術前PCR検査を開始
11月 26日	大阪府から感染拡大に伴う取り組み（円滑な転退院等）について緊急要請	発熱外来の陽性率確認開始
11月 27日	大阪府から年末年始の診療・検査体制の確保要請	
12月 1日	大阪府がフェーズの設定病床数を増床	
12月 2日	大阪府から軽中等症受入医療機関に重症化した患者2名程度の入院継続について緊急要請（12/20まで）	
12月 2日		フェーズ4ステージ2、受入病床を42床に変更・4階西病棟を閉鎖
12月 23日		SARS-CoV2-POC 遺伝子検査（ID NOW）設置と運用
令和3年 1月 8日		入院前PCR検査を開始
1月 14日	緊急事態宣言発出	
	大阪府から入院医療体制の確保について緊急要請	
1月 27日	大阪府から軽中等症受入医療機関に重症化した患者2名程度の入院継続について緊急要請（2/7まで）	
2月 14日	厚生労働省がワクチン（ファイザー）を特例承認	
3月 1日	緊急事態宣言解除	フェーズ3に移行
3月 9日		職員へのワクチン接種を開始
3月 10日	大阪府が病床確保計画を改定	発症後10日を退院基準に設定 病床逼迫時の対応を整理
3月 31日		フェーズ4ステージ2に移行
4月 5日	大阪府が「まん延防止等重点措置を実施すべき区域」に指定	

日付	社会動向	当院の動き
令和3年 4月 5日	大阪府からフェーズ4ステージ2の運用開始について及び軽中等症受入医療機関に重症化した患者2名程度の入院継続について緊急要請（5/5まで）	
4月 7日	大阪府が医療非常事態宣言を発出	受入病床を42床に変更
4月 12日	大阪府から一般医療を制限の上での受入れについて緊急要請	
4月 22日	大阪府から大型連休における受入体制の確保について緊急要請	
4月 25日	緊急事態宣言発出	
5月 18日	総務省からワクチン接種体制の強化に向けた協力要請	
5月 21日	厚生労働省がワクチン（アストラゼネカ、モデルナ）を特例承認	
6月 9日	大阪府の病床確保計画を改定 中等症・重症一体型病院を新設 災害級非常事態に備えた病床確保	
6月 15日	大阪府から上記に対応した医療提供体制整備について協力依頼	左記依頼については、中等症・重症一体型病院②とし、自院で重症化した患者を受入れる医療機関とした
6月 18日	緊急事態宣言解除	重症病床がフェーズ3に、軽症中等症病床はフェーズ2に移行
6月 21日	「まん延防止等重点措置を実施すべき区域」の指定 大阪府が転退院サポートセンターの運用開始	
6月 28日		受入病床を26床に変更
7月 8日	後遺症受診可能医療機関	療養終了後に後遺症の症状がある患者に対して診療を行う
7月 9日	中等症・重症一体型病院②	開始
7月 12日	大阪府から7月4連休における受入体制の確保について協力依頼	左記依頼に対し、通常の土日と同様の体制を確保(7/19)
7月 19日	厚生労働省が治療薬（ロナプリーブ）を特例承認	7階東病棟タブレット面会開始
7月 21日	大阪府が病床確保計画改定 確保病床数を拡大	
7月 28日	大阪府からお盆期間における診療・検査体制の確保について協力依頼	フェーズ4に移行
7月 30日		左記依頼に対し、通常の平日、土日と同様の体制を確保 受入病床を42床に変更
8月 2日	緊急事態宣言発出	
8月 11日	大阪府から自宅療養者に外来診療を実施する医療機関の意向調査	左記調査に対し、全日・全時間帯で2人までを診療する旨を回答

日付	社会動向	当院の動き
令和3年 8月 18日		重症病床がフェーズ4（非常事態）に移行
		職員に感染防止対策の徹底を再周知
8月 19日	大阪府から外来診療病院の登録依頼	左記依頼に対し、これまで同様に診療することから登録
8月 23日	総務省、厚生労働省から新生児の死亡事例を踏まえ体制確保について通知発出	
8月 26日	大阪府から小児入院医療体制の確保について要請	左記要請に対し、これまで同様の体制確保を維持
9月 7日	大阪府から入院医療体制の確保について緊急要請（中等症・重症一体型病院②における新規重症患者の受入及び重症病床のフェーズ4への移行と確実な病床運用）	
10月 5日	抗体治療バックアップ病院	地域外来等で中和抗体薬を投与した患者の緊急時に備えて、入院受入を行う等バックアップを開始した
令和4年 6月 30日	軽症・中等症受入医療機関	入院患者（軽症・中等症）受入医療機関 ※重症取り下げ
7月 20日	大阪府小児地域医療センター	時間外でも小児患者の診療・受入を行う
7月 23日	緊急避難病床の確保 （病床逼迫時に大阪府から要請があった場合、一定期間に限って特別に確保しなければならない）（9/5まで）	本院は1床
7月 8日	高齢者リハビリ・ケア病床の確保	要介護患者の受入促進や入院期間の短縮化のため、感染症病棟に専門職を配置し、入院初期からのリハビリ対応の実施
7月 23日	自院患者コロナ陽性病床の確保(8/2まで)	病院内の確保病床以外の病床において陽性患者が発生した場合に対応する病床を備え必要時に利用
10月 1日	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(空床補償)の要件の見直し	本院は要件を満たすことから変更なし
令和5年 3月 28日	国から、5月8日で感染症法上の分類を変更する新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更等に関する対応方針が示される	
3月 28日	国から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制の移行及び公費支援の具体的内容について示される	
4月 27日	大阪府による新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う入院患者の受入れ計画決定	感染症法上の分類が引き下げられることを受け、受入病床を平時は18床、感染拡大時は26床の2段階とするなど、5月8日以降の本院の取り扱いを決定
5月 8日	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが5類に移行される	新たな基準による運用開始(平時の18床)

正面玄関での検温開始

あらかじめ陽性と分からない方も来院されるため、病院入り口で検温を行い、有熱者は発熱外来まで誘導者により院外のルートを使って案内する院内トリアージを行っています。

令和2年(2020年)7月までの間は、医師・看護師・医療技術員・事務員など、職種に関わらず、全ての職員が当番で対応にあたっていました。



職員によるビニールガウンの作製

令和2年4月には、防護服が不足し、あと数日で枯渇しかねない事態が発生しました。

そのことが判明した日、午前中には3班体制でビニールシートを購入するため、遠方まで足を延ばすなど必要量の確保に奔走し、午後には職員有志で「手作り防護服(ビニールガウン)」を作製しました。

この職員の手によるビニールガウンの作製については、本院職員だけでなく、他の機関にも支援の輪が広がり、教育委員会の学校給食調理場や図書館、まなび舎整備室、上下水道局などで数多くの防護服を作製いただきました。



手作り防護服作製の様子

本院では、感染拡大の状況に応じ、大阪府の病床確保計画によりフェーズ1からフェーズ5（緊急確保病床を含む）の6段階を設定しました。

地域全体で病床がひっ迫した第4波や急速に感染が拡大した第7波など、厳しい局面もありましたが、その都度大阪府の要請に応じ、速やかに必要病床を確保し、受入れを行ってきました。

確保病床の変遷

日時	確保状況	備考
令和2年 3月 30日	8床 → 10床	6階西病棟一部休床
4月 10日	10床 → 20床	6階西病棟全休床（47床）
4月 18日		一部HCU化（4床） （※5/31まで）
6月 1日		6階西病棟一部稼働開始
8月 3日	20 → 26床 （フェーズ2）	病床確保計画でフェーズ指定開始
8月 20日		6階西病棟全稼働（47床）
11月 20日	26床（フェーズ2） → 30床 （フェーズ4）	
12月 2日	30床（フェーズ4） → 42床 （フェーズ4ステージ2）	4階西病棟 25床休床
12月 3日		4階病棟全休床（35床） ～現在
令和3年 3月 8日	42床（フェーズ4ステージ2） → 26床 （フェーズ3）	
4月 7日	26床（フェーズ3） → 42床 （フェーズ4ステージ2）	
6月 28日	42床（フェーズ4ステージ2） → 26床 （フェーズ2）	
7月 14日	重床：1床、中等床：25床確保	
7月 30日	26床（フェーズ2） → 42床 （フェーズ4）重床：1床、中等床：41床	
8月 10日	42床（フェーズ4） → 42床 （フェーズ5）	※変更なし
10月 4日	42床（フェーズ5） → 30床 （フェーズ3）重床：1床、中等床：29床	
10月 13日	重床：1床、中等床：25床 30床（フェーズ3） → 26床 （フェーズ2）	
11月 1日	26床（フェーズ2） → 26床 （フェーズ1）	※変更なし
令和4年 1月 11日	26床（フェーズ1） → 42床 （フェーズ4）重床：1床、中等床：41床	
1月 24日	42床（フェーズ4） → 42床 （災害級非常事態）	※変更なし
5月 17日	重床：1床、中等床：25床確保 42床（災害級非常事態） → 26床 （フェーズ2）	
6月 1日	26床（フェーズ2） → 26床 （フェーズ1）	※変更なし
7月 11日	26床（フェーズ1） → 30床 （フェーズ3）	

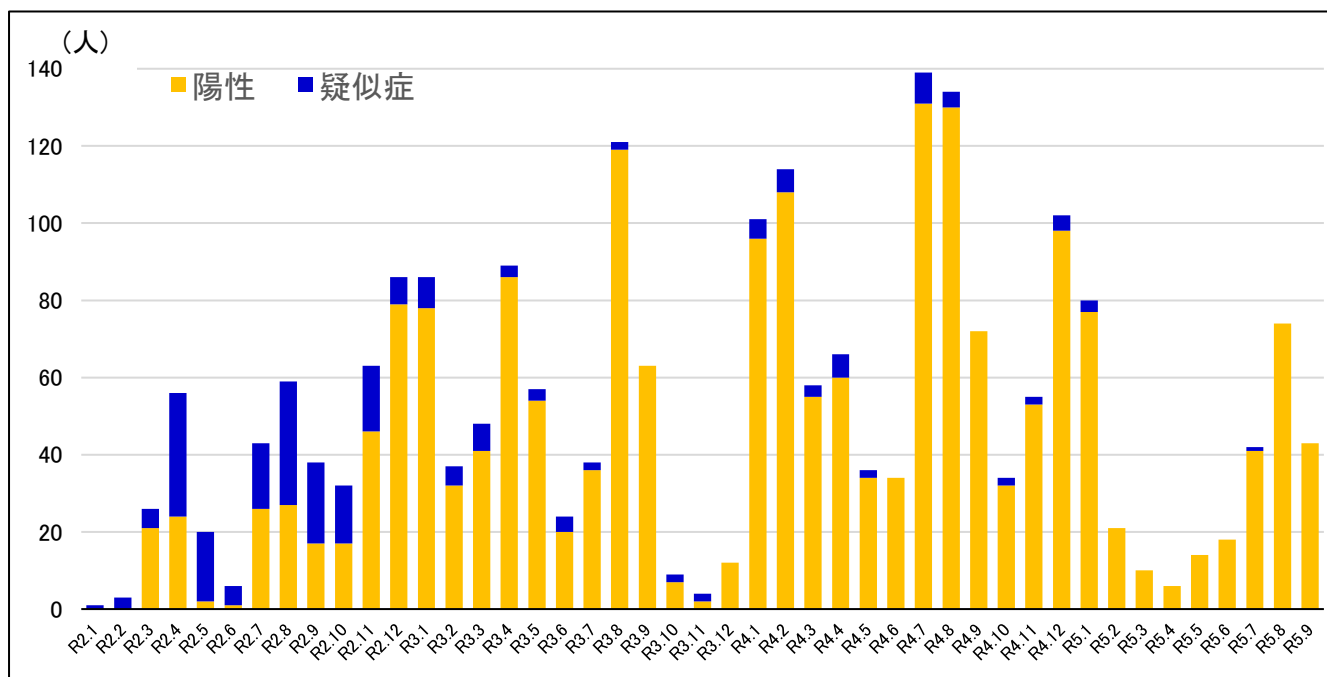
日時	確保状況	備考
令和4年 7月 15日	30床(フェーズ3) → 42床 (フェーズ5 緊急避難的確保病床を除く)	
7月 23日	42床(フェーズ5 緊急避難的確保病床を除く) → 43床 (フェーズ5 緊急避難的確保病床を含む)	43床のうち1床は6階西病棟
9月 8日	43床(フェーズ5 緊急避難的確保病床を含む) → 42床 (フェーズ5 緊急避難的確保病床を除く)	
9月 14日	42床(フェーズ5 緊急避難的確保病床を除く) → 42床 (フェーズ4)	※変更なし
10月 3日	42床(フェーズ4) → 26床 (フェーズ2)	
10月 28日	26床(フェーズ2) → 10床 (フェーズ1)	フェーズ1・2の病床変更 フェーズ1 : 26→10 フェーズ2 : 26→18
11月 14日	10床(フェーズ1) → 18床 (フェーズ2)	
11月 24日	18床(フェーズ2) → 30床 (フェーズ3)	
12月 2日	30床(フェーズ3) → 42床 (フェーズ4)	
12月 26日	42床(フェーズ4) → 43床 (フェーズ5 緊急避難的確保病床を含む)	43床のうち1床は6階西病棟
令和5年 1月 31日	43床(フェーズ5 緊急避難的確保病床を含む) → 42床 (フェーズ5 緊急避難的確保病床を除く)	
2月 2日	42床(フェーズ5 緊急避難的確保病床を除く) → 42床 確保(フェーズ4)	※変更なし
2月 8日	42床(フェーズ4) → 30床 (フェーズ3)	
2月 17日	30床(フェーズ3) → 18床 ※(フェーズ1)	※本来10床のところ、それを上回る患者が入院しているため
3月 2日	18床(フェーズ1) → 10床 (フェーズ1)	
5月 8日	18床(フェーズ1) → 18床 (平時)	感染症法上の分類が引き下げられたことを受け、平時：18床、感染拡大時：26床の2段階に変更
7月 31日	18床(平時) → 26床 (感染拡大時)	
10月 1日	確保病床によらない受入れ体制に移行	

新型コロナウイルス感染症による入院患者数

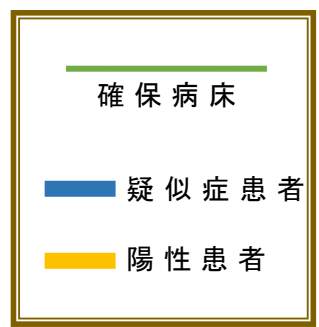
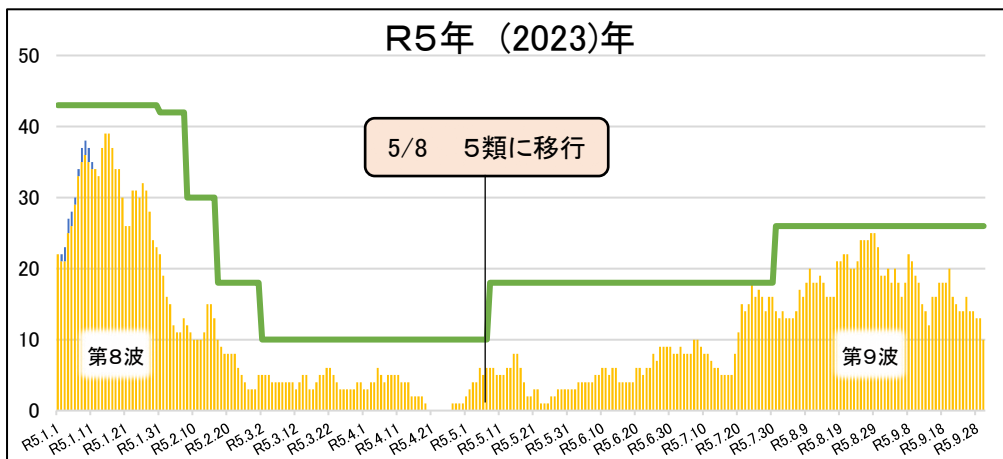
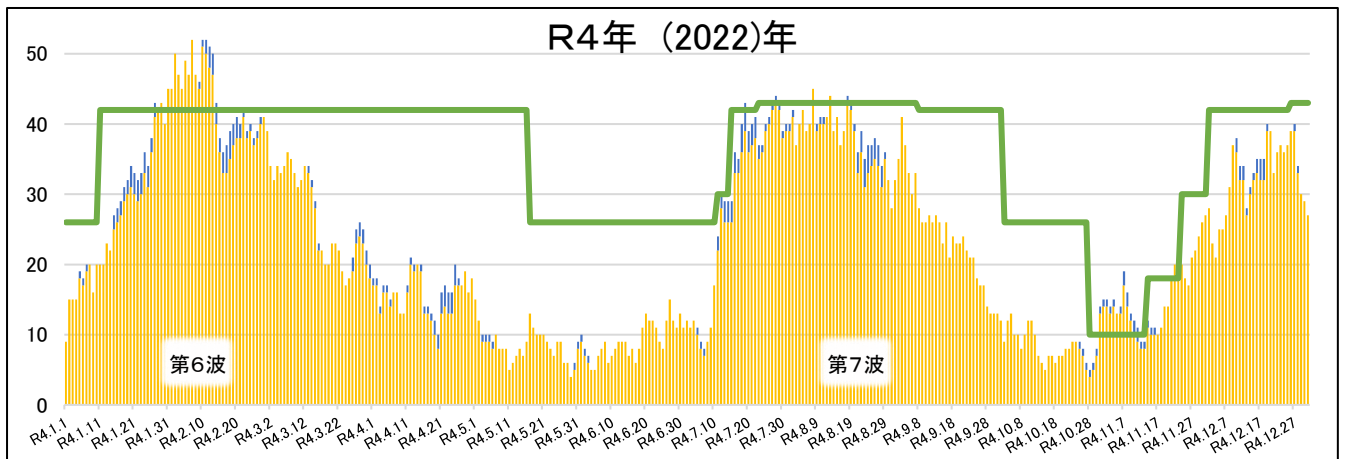
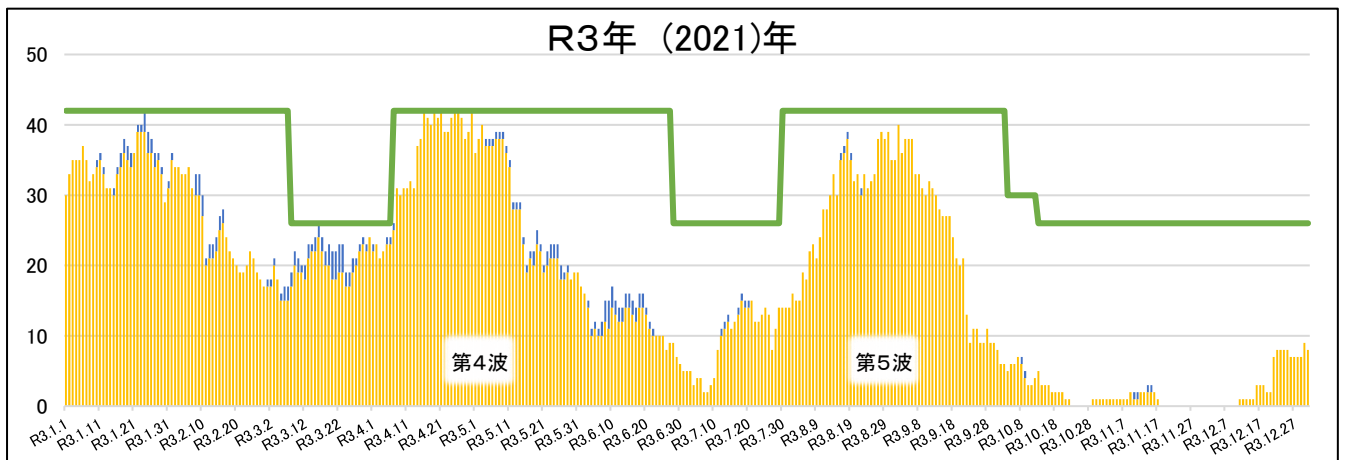
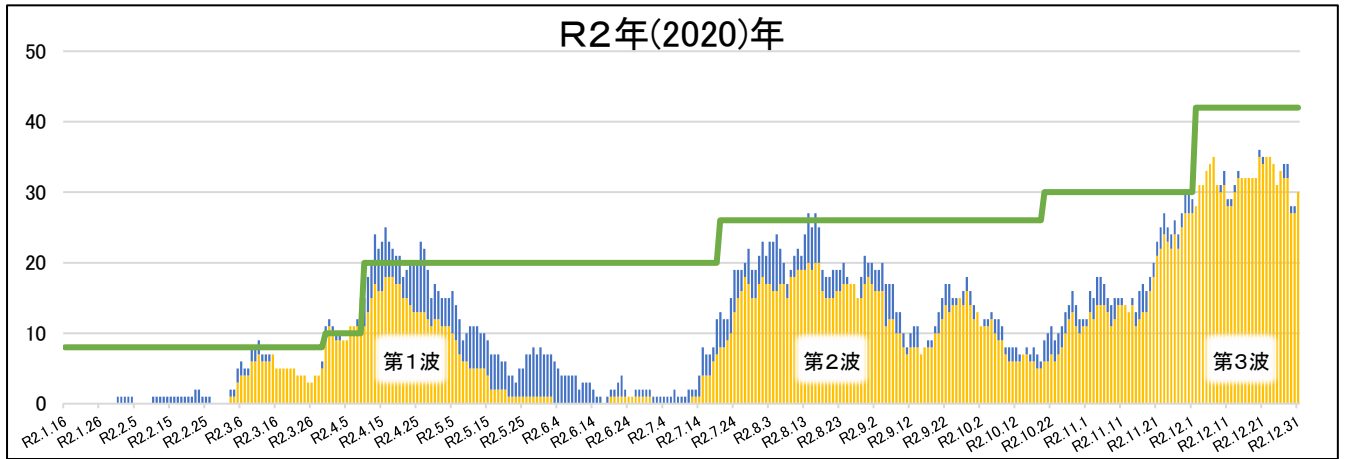
【新入院患者数（月別）】

月	令和2年(2020年)			令和3年(2021年)			令和4年(2022年)			令和5年(2023年)		
	陽性	疑似症	計	陽性	疑似症	計	陽性	疑似症	計	陽性	疑似症	計
1月	0	1	1	78	8	86	96	5	101	77	3	80
2月	0	3	3	32	5	37	108	6	114	21	0	21
3月	21	5	26	41	7	48	55	3	58	10	0	10
4月	24	32	56	86	3	89	60	6	66	6	0	6
5月	2	18	20	54	3	57	34	2	36	14	0	14
6月	1	5	6	20	4	24	34	0	34	18	0	18
7月	26	17	43	36	2	38	131	8	139	41	1	42
8月	27	32	59	119	2	121	130	4	134	74	0	74
9月	17	21	38	63	0	63	72	0	72	43	0	43
10月	17	15	32	7	2	9	32	2	34	(9月末まで)		
11月	46	17	63	2	2	4	53	2	55			
12月	79	7	86	12	0	12	98	4	102			
合計	260	173	433	550	38	588	903	42	945	304	4	308

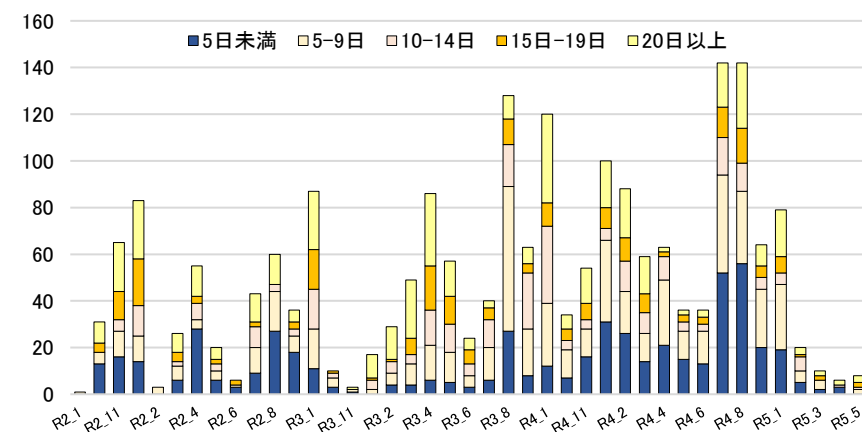
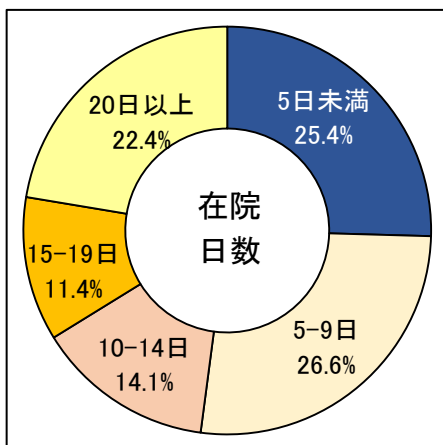
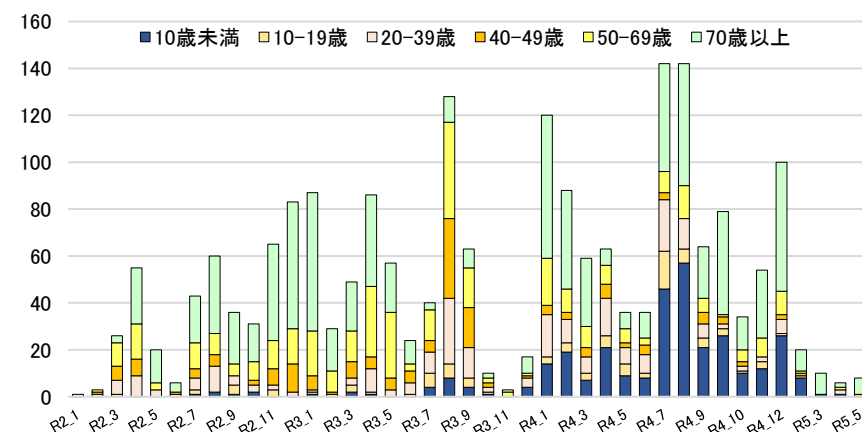
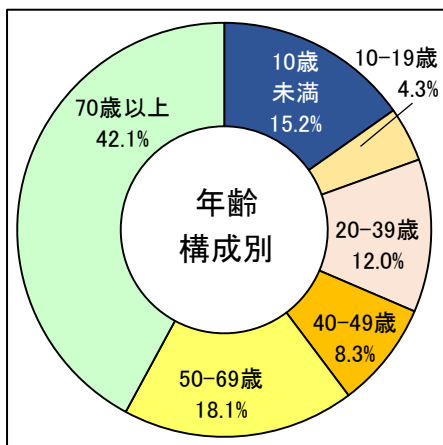
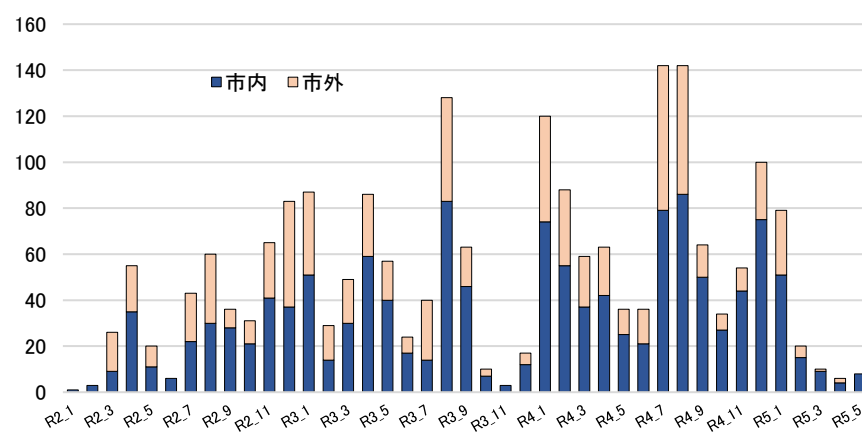
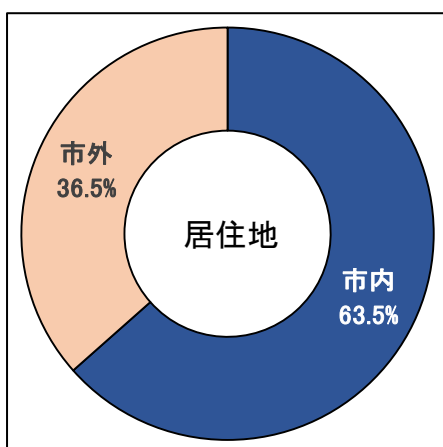
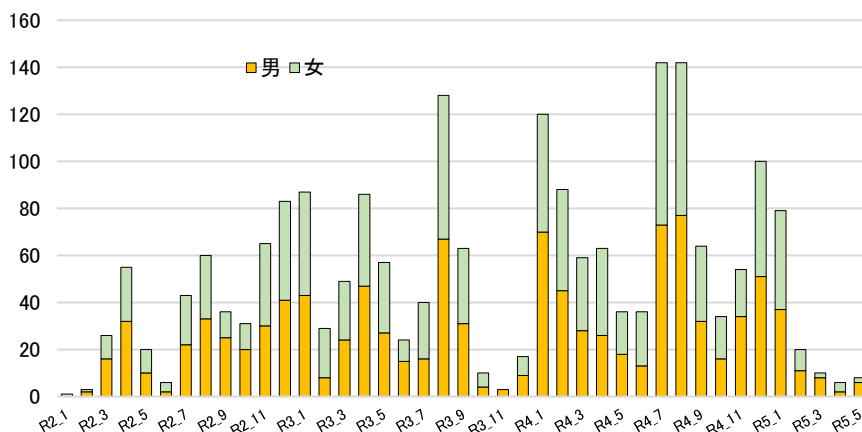
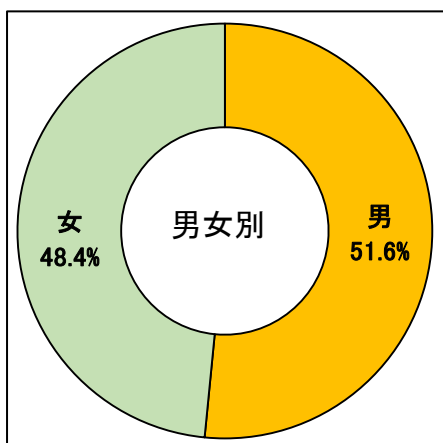
総合計	陽性	疑似症	計
	2,017	257	2,274



【入院している患者数の推移（日別）】



入院患者(陽性)の内訳



小児・妊産婦の受入れ

本院は大阪府下で2番目に多い小児患者を受入れました。最も多いのが令和4年(2022)年8月で、年齢別では1歳が最多でした。乳幼児が多い背景として、嘔吐などの胃腸症状や食事摂取困難などによる入院希望が多く見られたことなどが考えられます。

また、本院では妊産婦の受入れも行っており、令和4年(2022)年6月1日には、簡易陰圧装置を購入し、新型コロナウイルス感染症陽性患者の分娩設備も装備しました。

◆ 小児

年月	確保病床	受入実績
令和2年7月	44	11
8月	62	12
9月	60	10
10月	62	9
11月	60	19
12月	62	0
令和3年1月	62	3
2月	56	11
3月	62	49
4月	60	36
5月	62	0
6月	60	0
7月	62	47
8月	67	83
9月	90	61
10月	93	18
11月	90	0
12月	93	43
令和4年1月	93	159
2月	84	111
3月	93	71
4月	90	104
5月	93	58
6月	90	42
7月	99	250
8月	155	249
9月	97	128
10月	93	43
11月	90	65
12月	105	79
令和5年1月	155	91
2月	86	35
3月	93	1
4月	90	19
5月	21	12
計	2,834	1,929

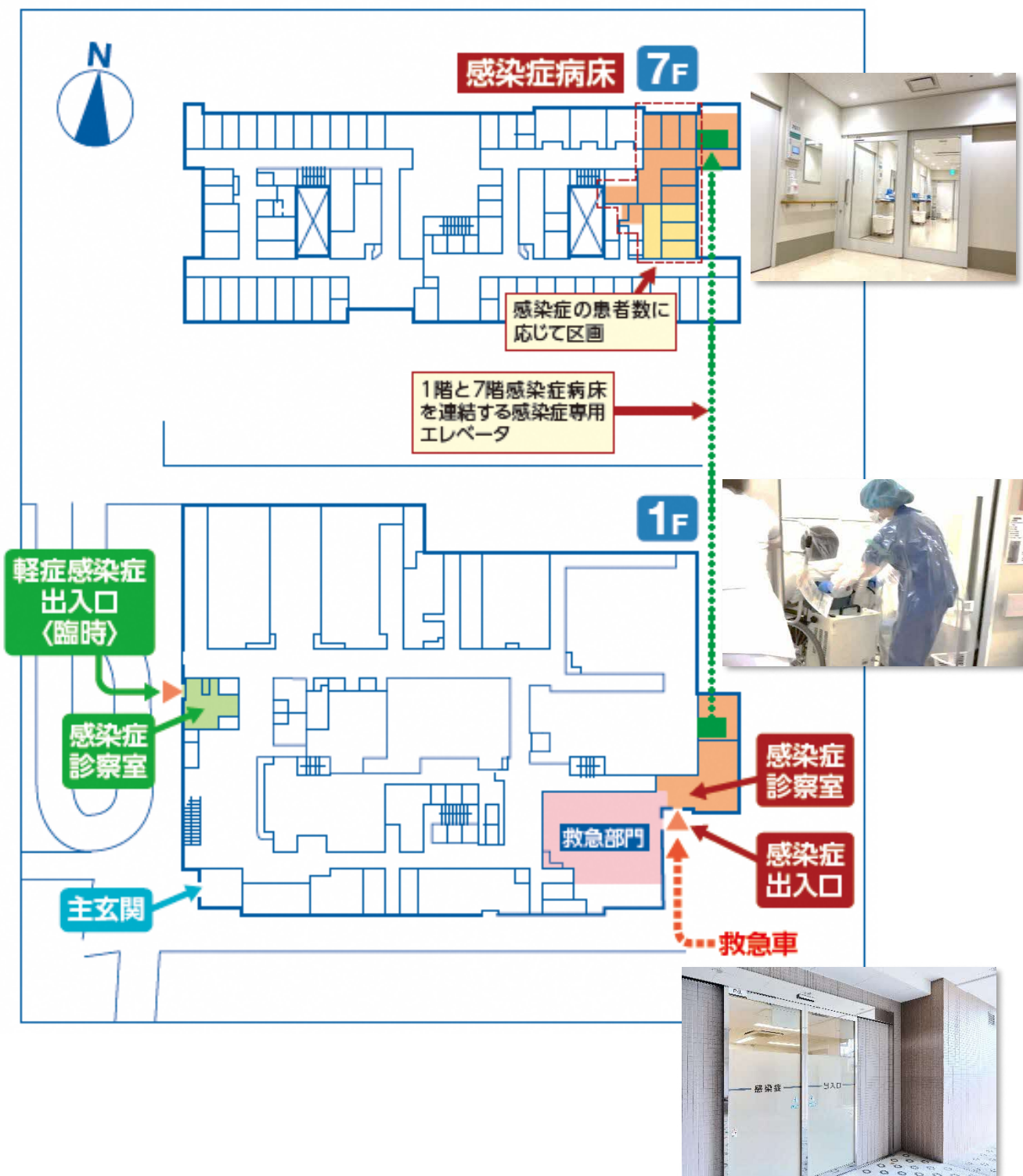
◆ 妊産婦

年月	確保病床	受入実績
令和2年7月	22	5
8月	62	5
9月	60	4
10月	62	0
11月	60	0
12月	62	0
令和3年1月	62	0
2月	56	0
3月	62	0
4月	60	0
5月	62	0
6月	60	11
7月	62	3
8月	62	9
9月	60	11
10月	62	0
11月	60	0
12月	62	0
令和4年1月	62	8
2月	56	0
3月	62	17
4月	60	16
5月	62	8
6月	60	1
7月	62	16
8月	62	26
9月	60	3
10月	62	0
11月	60	0
12月	62	13
令和5年1月	62	19
2月	56	0
3月	62	0
4月	60	0
5月	14	0
計	2,042	175

感染症病床への入院ルート

当院の感染症病床は、隔離ができる構造となっています。

正面玄関と反対側の救急車が到着する入り口の横に感染症診察室の入り口があります。そこで診察を受け、感染症病床には直通の専用エレベーターで入院することになります。



入院病床の対応

元々の感染症病床は赤く記している 8 床です。感染拡大時、府からの増床の要請により、最大 43 床まで増床しました。

増床する際には、ナースステーションと病床との間に壁を設置して、ナースステーションをグリーンゾーンとし、前室を設け、廊下から全体をレッドゾーンとしていました。



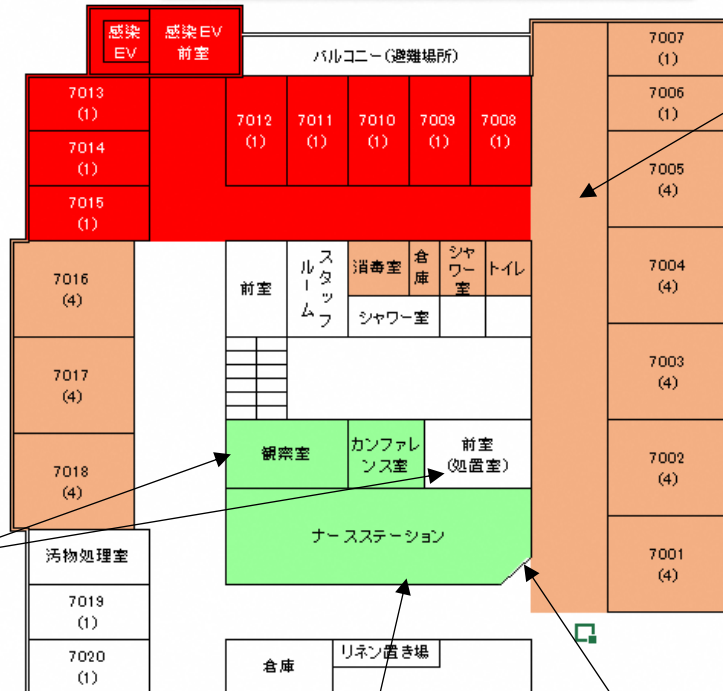
病室



レッドゾーン廊下



前室



オープン詰所前に壁を設置

感染症病床の看護師

【発生初期】

令和2年(2020年)は物資が不足し、手作りのエプロンやN95マスクを繰り返し使用せざるを得ない状況でした。

また、ビニール製のエプロンは汗が蒸散されないなど皮膚症状もみられるなど、スタッフからは精神面の不調だけでなく、身体的にも苦痛や負担は大きいものでした。



また、感染症病床については、トイレやシャワー室の清掃も看護師が行っていました。



【現在】

現在、エプロンは不織布を着用し、詰所からの指示はインカム(無線機器)などを使用しています。令和2年(2020年)に比べ苦痛は軽減しているものと考えます。

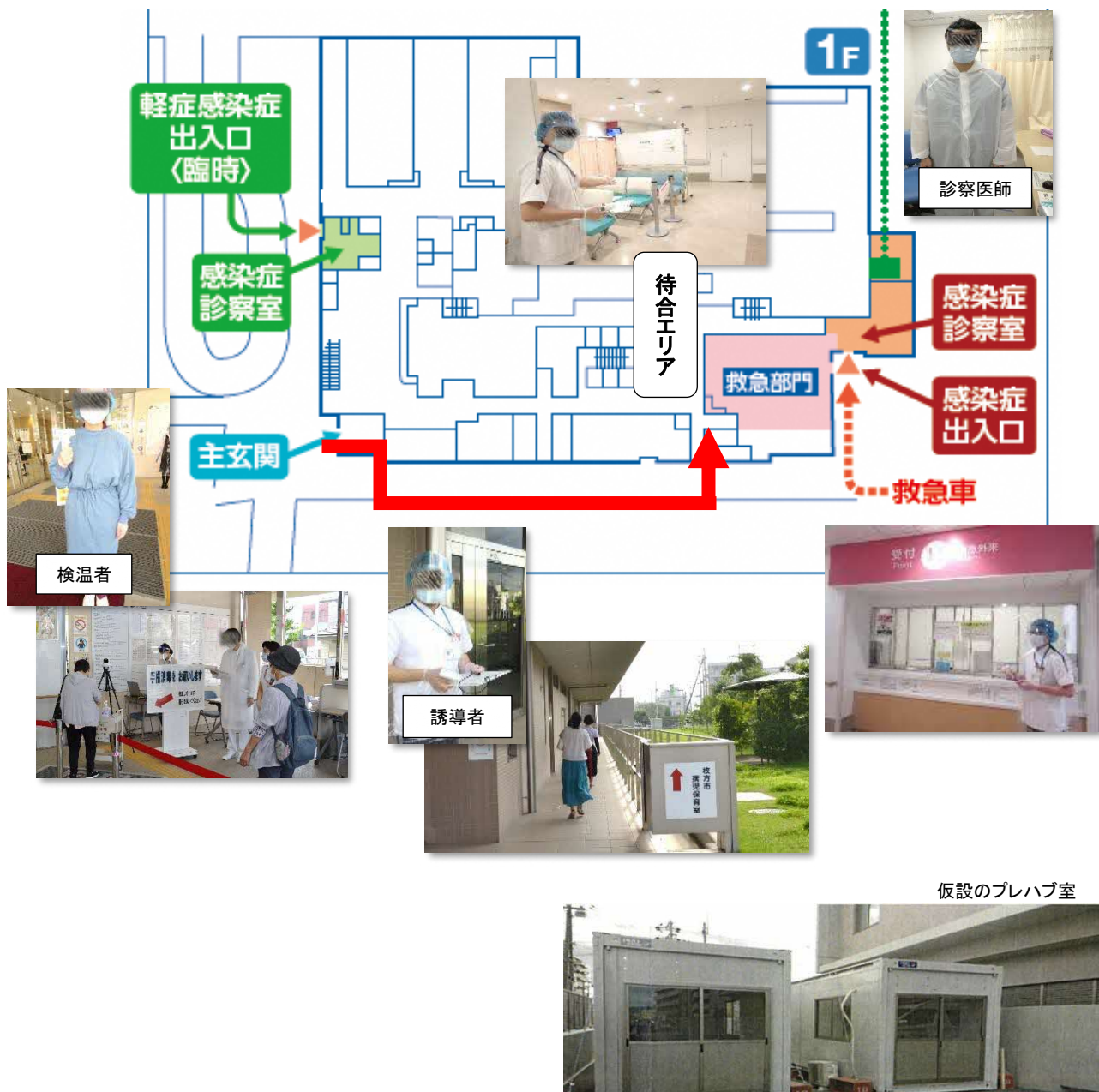


発熱外来の設置

本院では、新型コロナウイルス感染症の発生後、令和2年(2020)4月10日から正面玄関において検温を開始しました。その3日後の4月13日にはH(救急)ブロックにおいて発熱外来を設置し、発熱患者の診療をその他の診療患者とは分離して行っています(現在も継続中)。

発熱外来では、発熱の症状で本院に受診に来られた患者のほか、“地域外来・検査センター”として地域の医療機関で感染が疑われるとして紹介を受けた患者や、枚方市保健所の依頼による陽性確定患者等の検査・診察等を行っています。

令和2年(2020年)12月から令和5年(2023年)5月7日までの間は、救急搬入口側にプレハブを2棟設置し、発熱患者の診察や待機場所として使用しました。

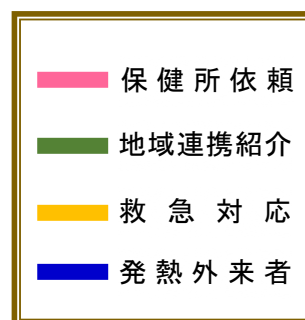
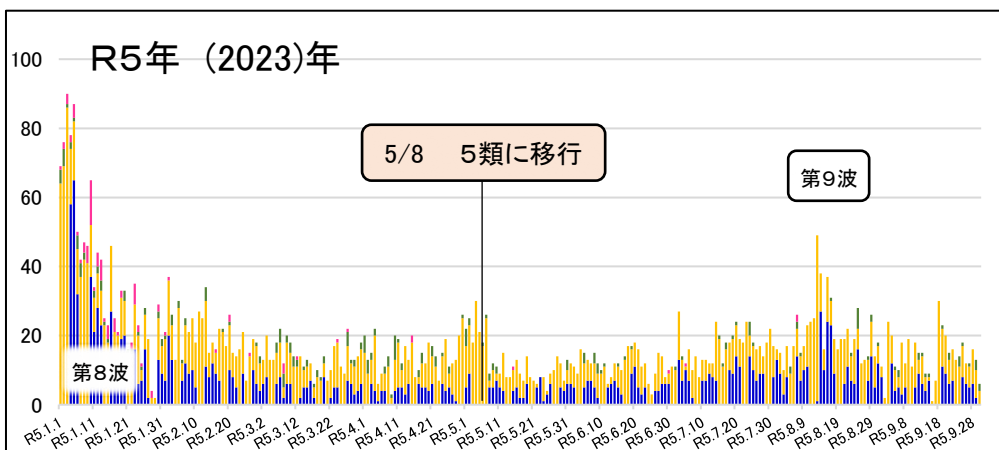
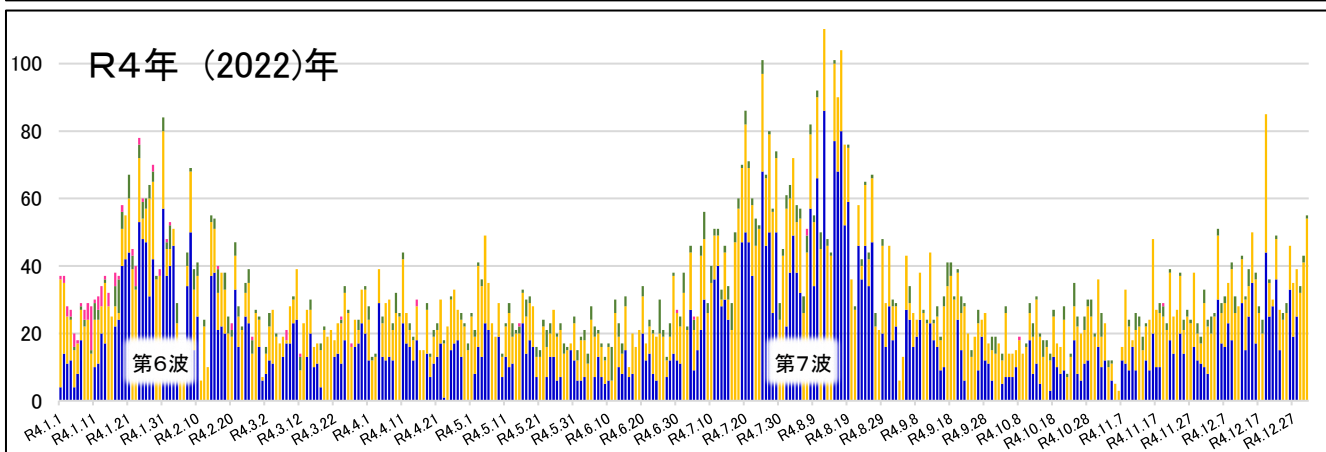
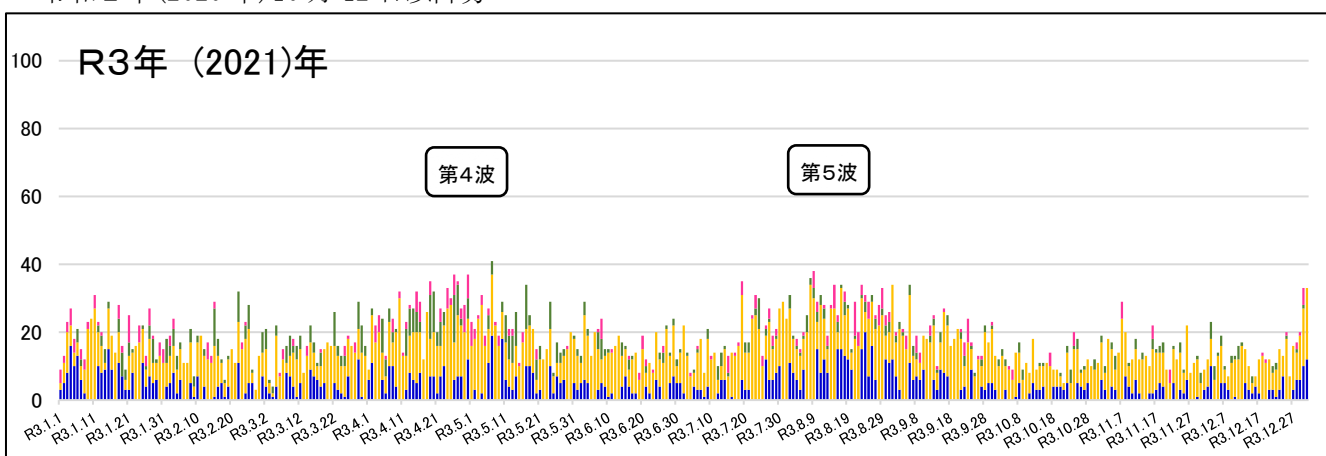
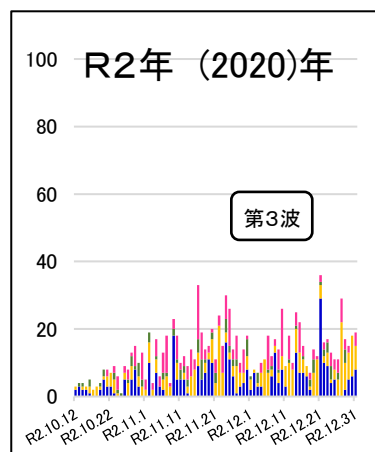


新型コロナウイルス感染症に係る外来患者数

外来では、発熱外来のほかに、地域の医療機関からの紹介患者や、救急（救急車&ウォークイン）、保健所からの依頼があった患者の受入れを行ってきました。

第5波までは、救急を中心に月20~40件程度で推移していましたが、第6波からは発熱外来での受診が増加し、第7波ではピーク時には100人を超える発熱外来患者が来院され、大変な混雑が生じたことから、診察室を増設するなどして対応しました。

※ データは新型コロナウイルス感染症に限定して集計を開始した令和2年(2020年)10月12日以降分



発熱外来における検査の状況

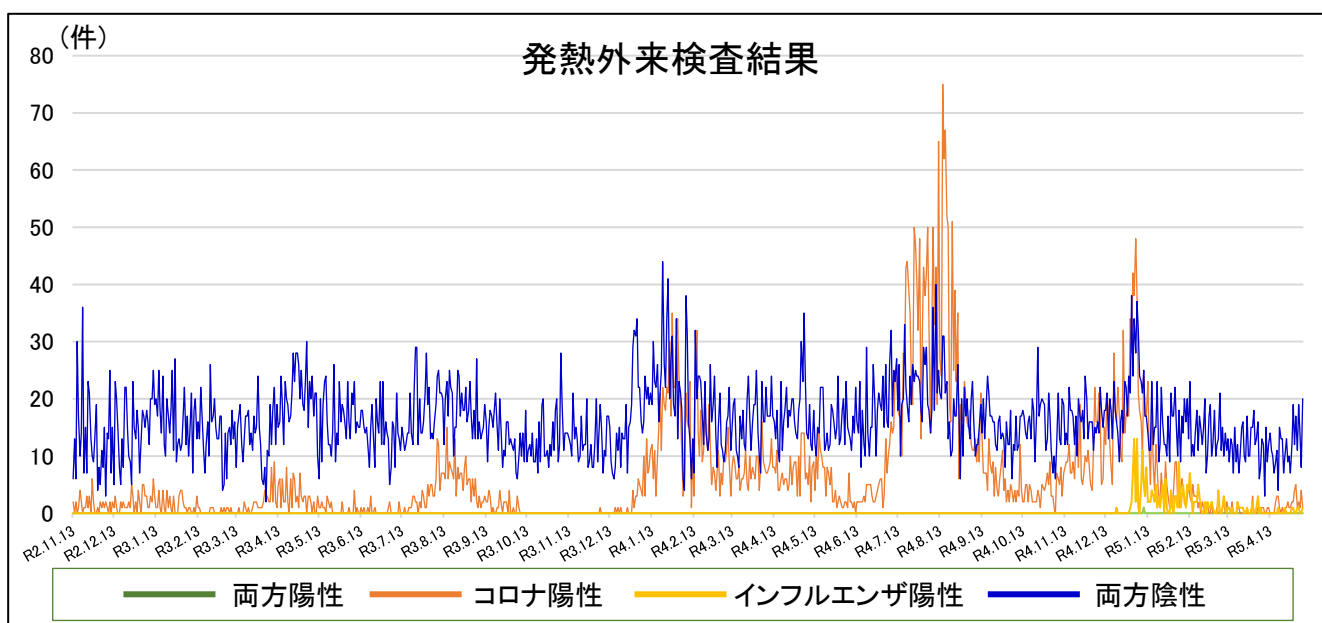
発熱外来では、令和4年(2022年)1月には検査試薬が不足する事態が発生するなど、厳しい局面が何度もありましたが、必要に応じた検査を実施してきました。

検査の結果、新型コロナウイルス感染症の陰性であった患者数はそれほど大きな増減がなく、一方で感染拡大期には陽性患者が大きく増加していることから、感染拡大期は『陽性率』が顕著に高くなっていることがこのグラフからも窺えます。

令和5年(2023年)に入ってから、インフルエンザについても流行の兆しがあったことから、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの両方の検査を実施する機会が増加しました。

※ データは新型コロナウイルス感染症に限定して集計を開始した令和2年(2020年)11月12日以降分

両方陽性	コロナ陽性	インフルエンザ陽性	両方陰性	総計
1件	6,319件	261件	15,424件	22,005件



電話診療

本院では、新型コロナウイルス感染症以外の疾患により受診の必要がありながら、新型コロナウイルス感染症への感染を懸念される方を対象に電話診療を実施していました。

電話診療は、毎年2,000件を超える方の受診がありました(令和5年(2023年)7月末で終了)。

令和2年(2020年)3月~12月	2,395件
令和3年(2021年)1月~12月	2,264件
令和4年(2022年)1月~12月	2,295件
令和5年(2023年)1月~7月	779件

院内感染防止の取り組み

前述の発熱患者を分離して診察する発熱外来の設置のほか、院内感染を防止するための様々な措置を講じました。

【面会の禁止・制限】

面会については、令和2年(2020年)2月から一部を制限し、同年4月13日からは禁止としていました。

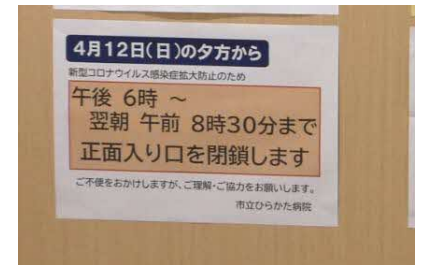
その後、令和4年(2022年)10月から現在までの間、段階的に緩和をしています。



面会禁止期間中のデイルームの様子

【正面玄関の夜間閉鎖】

令和2年(2020年)4月12日からは、午後6時から翌朝午前8時30分の間、正面の入口を閉鎖することとしました(現在も継続中)。



【その他感染防止措置】

情報コーナーの閉鎖や飛沫感染予防のための受付等へのビニールシートの設置、院内各所へのパーティション設置など、様々な措置を講じていました(情報コーナーは令和5年(2023年)5月8日から開放)。



受付等各所にビニールシートや消毒液を設置



正面入り口では消毒と同時に検温



閉鎖した情報コーナー



待合の椅子(間隔を開けるための貼り紙)



発熱外来待合室

【職員の感染防止の取り組み】

職員が感染した場合、院内感染のリスクが高まることから、職員の感染防止対策には細心の注意を払ってきました。

医療用のマスクや医療用フェイスシールドの着用を義務付けたほか、携帯用のアルコールを各人が持つなど手指消毒を徹底していました。なお、勤務中のマスク着用は5類となった現在も継続中です。



フェイスシールドと携帯用アルコール

職員通用口（タイムカード付近）には検温器を設置して、発熱が認められた場合は即検査することとしていました。

このほか、職員食堂や休憩所など、各所に仕切りを設けるなどの措置を講じてきました。

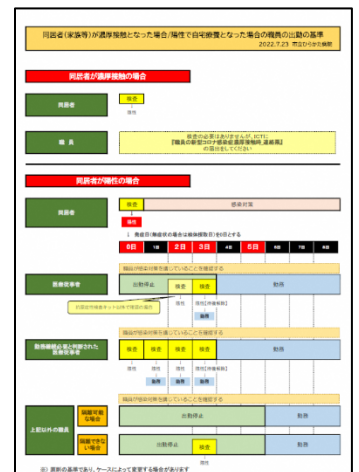
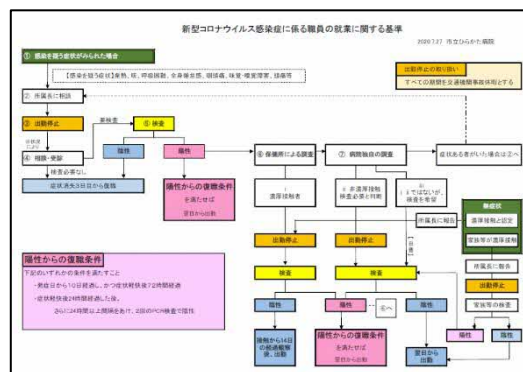


職員食堂。同じ方向を向くよう配席し、仕切りを設置



職員通用口に検温器を設置

『感染を疑う症状がみられた場合における就業の基準』や『同居人が陽性となった場合における基準』等の院内ルールを早期に策定し、わかりやすいよう図式化して周知することで、各職場の混乱や職員の不安感の抑制を図りました。



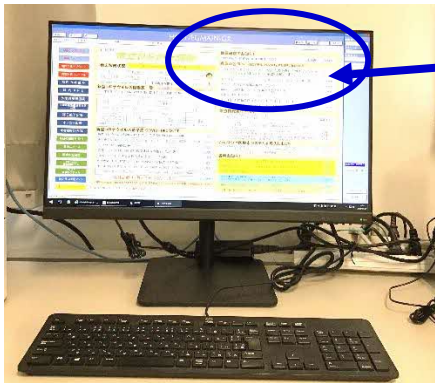
このほか、勤務時間外であっても医療従事者であることを自覚した行動をとるよう徹底しており、5類への移行前は、多人数での飲食の場への参加等を、原則、禁止していました。

その他の取り組み

【職員への周知徹底】

新型コロナウイルス感染症に関し、検討すべきことが生じた場合には、病院長が『コロナ会議』を招集し、議論し、決定してきました。

決定したことは、会議に出席した各所属長が職場で周知する以外に、電子カルテ端末のトップ画面に掲示することで、職員の誰もが迅速に情報を得られるようにしてきました。



職員の皆様へ ～本院で勤務される方は必ず以下をご確認ください～

その1「電子カルテバージョンアップの主な変更点」、その2「ナビゲーションマップの変更点」のお知らせ、ご確認をお願いします。

- >>その1<<
- >>その2<<

★新★新型コロナウイルス感染症患者の受入に関する運用について >>9/28更新<<

新型コロナ患者の隔離の解除について >>6/14更新<<

職員の行動制限について(全職員の皆さんへ) >>6/2更新<<

陽性者連絡表の変更について >>4/28更新<<

面会制限の緩和条件の変更について(4月17日から) >>4/14更新<<

新型コロナウイルスに係る院内の感染対策について【マスク着用】 >>更新<<

【物品の管理】

新型コロナウイルス感染症の対応期間、多くの感染防止に係る医療機器や消耗品が必要となり、混乱を避けるため、院内に物品管理委員会を立ち上げるなどしてきましたが、物品の出入りが激しく対応に追われることとなりました。

また、初期にはN95 マスクや防護服が不足したことを踏まえ必要数の備蓄に努めていますが、備蓄できるスペースが不足しており、一部を院外で保管するなどして対応しているところです。

今後の新興感染症への備え(P38 参照)も考慮した場合、この備蓄スペースの問題については、引き続き解消に向けた取り組みが必要と認識しています。



【安全性のアピール】

本院が感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者の診察や入院の受入れを早期から行っていることから、感染への懸念による受診控えのないよう、本院では様々な感染防止対策を講じているだけでなく、新型コロナウイルス感染症の発生前から、感染症患者の動線分離など、『感染症指定医療機関であるからこそ、より安全に受診いただけるよう設備を整えている』ことをホームページ等に掲載するなどして安全性をPRしました。



本院ホームページ上に特設コーナーを設置

国・大阪府からの補助金及びその活用について

体制整備等のための機器・物品等に係る補助金

令和2年度(2020年度)

【収益的収入】

● 国庫補助金

補助金名	決算額(円)	申請内容
インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス感染症疑い患者を受入れる救急・周産期・小児医療機関体制確保事業補助金	7,528,708	パーテーション、ガウン滅菌委託、感染清掃委託他
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	18,645,900	パーテーション、光触媒空気清浄機(106台)他
計	26,174,608	

● 府補助金

補助金名	決算額(円)	申請内容
新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者外来等設備整備事業補助金	1,072,000	KN95(300枚)、防護服(300枚)
新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者外来等設備整備事業補助金(2次)	7,413,000	仮設診療(プレハブ)、付随ラック・カート他
新型コロナウイルス感染症類似症状患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業補助金【診療体制確保事業】	3,936,642	点滴スタンド、消毒ディスペンサー他
新型コロナウイルス感染症類似症状患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業補助金【設備整備事業】	6,707,000	サージカルマスク(53,280枚)、ガウン(52,800枚)、グローブ(52,800枚)、キャップ(28,800枚)
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備等整備補助金	8,478,016	N95(9,540枚)、ガウン(9,000枚)、防護服(546枚)、グローブ(9,600枚)、フェイスシールド(9,600枚)
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備等整備補助金(2次)	3,246,000	N95(4,710枚)、ガウン(4,750枚)、グローブ(4,800枚)、キャップ(4,800枚)、フェイスシールド(4,704枚)
計	30,852,658	

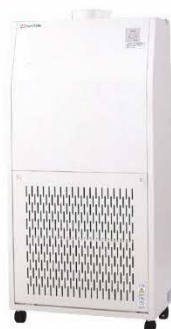
【資本的収入】

● 国庫補助金

補助金名	決算額(円)	申請内容
インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス感染症疑い患者を受入れる救急・周産期・小児医療機関体制確保事業補助金	14,471,292	心電計、等温遺伝子増幅装置 他
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	44,354,100	紫外線消毒器(MoonBeam3)、オゾン空気清浄機、等温遺伝子増幅装置、AI非接触体温計、紫外線殺菌装置(Care222)、ワイヤレス通話システム
計	58,825,392	

●府補助金

補助金名	決算額(円)	申請内容
新型コロナウイルス感染症類似症状患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業補助金【診療体制確保事業】	56,063,358	紫外線消毒装置 (UVDROBOT)、採痰ブース、簡易陰圧装置、紫外線消毒器 (MoonBeam3)、クリーンパーテーション、陰圧ストレッチャー、感染防止パーテーション
新型コロナウイルス感染症類似症状患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業補助金【設備整備事業】	3,293,000	クリーンパーテーション、保育器
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備等整備補助金	28,891,984	人工呼吸器(3台)、簡易陰圧装置(10式) オンライン面会備品一式【タブレット他】
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備等整備補助金(2次)	2,750,000	人工呼吸器(1台)
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備等整備補助金	12,914,000	リアルタイムPCR装置(1台)
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備等整備補助金(2次)	17,270,000	リアルタイムPCR装置(1台)、全自動化学発光酵素免疫測定装置(1台)
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備等整備補助金	88,550,000	CT撮影装置、気管支鏡、生体情報モニタ他
計	209,732,342	



簡易陰圧装置



PCR検査装置



人工呼吸器



紫外線消毒器
(UVD ROBOT)



紫外線消毒装置

令和3年度(2021年度)

【収益的収入】

●府補助金

補助金名	決算額(円)	申請内容
新型コロナウイルス感染症患者等入院病床確保緊急支援事業補助金(消毒経費)	1,888,000	消毒用エタノール(1,000ml:288本)、ピュレルアドバンスドジェル(215ml:252箱)
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備等整備事業補助金	15,019,000	サージカルマスク(12,000枚)、N95(22,080枚)、ニトリルグローブ(165,800枚)、アルファキャップ(55,400枚)
新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者外来等設備整備事業補助金	7,744,040	ガウン(6,750枚)、N95(4,500枚)、サージカルマスク(2,400枚)、ニトリルグローブ(54,000枚)
新型コロナウイルス感染症類似症状患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業補助金	10,000,000	気管支鏡(1台)、サージカルマスク(36,000枚)、ガウン(35,400枚)、グローブ(35,400枚)
計	34,651,040	

【資本的収入】

●国庫補助金

補助金名	決算額(円)	申請内容
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金	5,000,000	輸液ポンプ(6台)、シリンジポンプ(12台) 他
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金	100,000	中和抗体迅速検査システム(1台)
計	5,100,000	

●府補助金

補助金名	決算額(円)	申請内容
新型コロナウイルス感染症検査機関等設備整備事業補助金	11,104,000	リアルタイムPCR装置(1台)、等温遺伝子増幅装置(1台)、核酸抽出装置(1台)、卓上型安全キャビネット 他
新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業補助金	56,502,000	超音波画像診断装置(2台)、気管支鏡(1台)、CT撮影装置(2台)、生体情報モニタ(3台)
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備等整備事業補助金	9,490,000	ネーザルハイフロー(3台)、人工呼吸器(2台)
新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者外来等設備整備事業補助金	388,960	クリーンパーテーション(2台)
計	77,484,960	

令和4年度(2022年度)

【収益的収入】

●府補助金

補助金名	決算額(円)	申請内容
新型コロナウイルス感染症患者等入院病床確保緊急支援事業補助金(消毒経費)	1,802,000	消毒用エタノール(1,000ml:328本)、ピュレルアドバンスドジェル(215ml:252箱)
新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者外来等設備整備事業補助金	5,989,000	サージカルマスク(2,400枚)、N95(650枚)、グローブ(26,000枚)
新型コロナウイルス感染症類似症状患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業補助金	2,414,000	N95(2,000枚)、N95(8,000枚)、ガウン(10,000枚)、グローブ(10,000枚)
計	10,205,000	

【資本的収入】

●府補助金

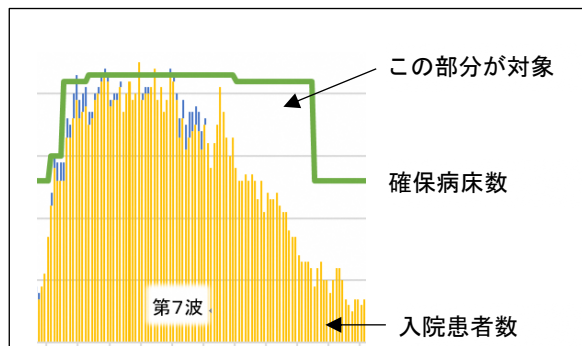
補助金名	決算額(円)	申請内容
新型コロナウイルス感染症外来診療(透析治療・周産期・小児医療)感染対策設備整備事業補助金	583,000	クリーンパーテーション(3台)
新型コロナウイルス感染症類似症状患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業補助金	3,558,000	クリーンパーテーション(5台) 簡易陰圧装置(1台)
計	4,141,000	



病床確保料（空床補償）について

新型コロナウイルス感染症で入院が必要と判断されるような病状の患者の速やかな入院に繋げるため、大阪府では病床確保計画を策定されています。

この病床確保計画は、医療機関ごとで感染拡大状況に応じた確保病床数を設定することとし、確保病床数と入院患者数の差分に対し、病床確保料（空床補償）が交付されることとなっています。



◆年度別の病床確保料額

令和2年度	1,260,874,000円
令和3年度	(※) 1,685,498,000円
令和4年度	1,448,032,000円
令和5年度（9月30日まで）	244,126,000円

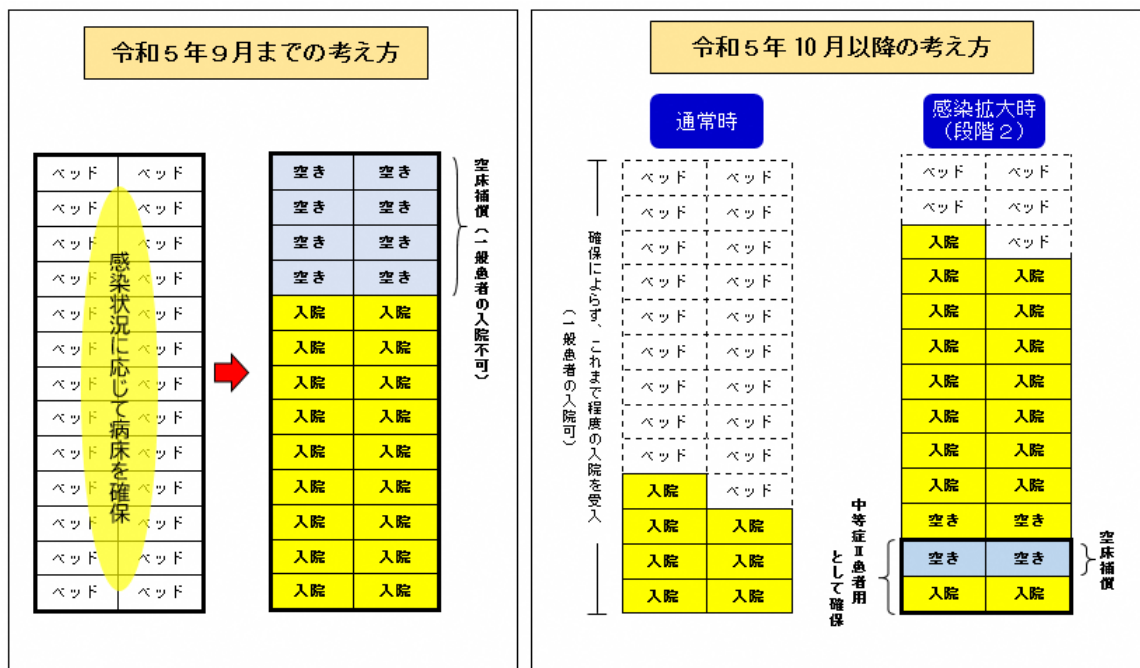
(※) クラスター関係分(11,322,000円)を含む

病床確保料

令和5年5月7日まで；@74,000円
令和5年5月8日以降；@37,000円

この制度は、令和5年(2023年)5月8日以降についても、移行期間として6割程度に縮小されたうえで継続となっていました。10月以降は、原則として“確保によらず、これまで程度の感染患者を受入れること”とされ、一部例外を除き病床確保料は交付されないこととなりました。

<令和5年(2023年)10月1日前後のイメージ>



診療報酬上の臨時的な取扱いについて

【入院関係】

名称 説明	開始日	措置内容	令和5年5月8日 以降
二類感染症患者入院 診療加算	令和2年 4月 8日	算定開始(250点)	10月1日 125点に引下げ
	4月18日	重症度や人員配置に応じ2~4倍に引き上げ(500~1,000点)	
入院を要する新型コロナ患者に対し、必要な感染予防策を講じた上で、入院させた場合	令和2年 5月26日	コロナ回復後、引き続き入院加療が必要な患者を受入れた場合加算可能(250点)	10月1日 2倍(500点)に引下げ
	12月15日	コロナ回復後、引き続き入院加療が必要な患者を受入れた場合3倍を加算(750点)	
	令和4年 10月 1日	リハビリを実施した場合も加算可能(250点)	50点に引下げ
救急医療管理加算1	令和2年 4月 8日	算定開始(950点)	5月8日 中等症以上2倍に引下げ(1,900点) ↓
	4月18日	中等症以上2倍に引上げ(1,900点)	
新型コロナへの感染を疑う患者に対し、診療を実施した場合	5月26日	中等症以上3倍に引上げ(2,850点)	10月1日 救急管理加算2の2倍に引下げ(840点)
	9月15日	中等症Ⅱ以上は5倍に引上げ(4,750点)	
	令和3年 8月27日	中等症Ⅱ以上6倍に引上げ(5,700点) それ以外の中等症4倍に引上げ(3,800点)	
	令和3年 1月22日	コロナ回復後、引き続き入院加療が必要な患者を受入れた場合も加算(950点)	5月8日 950点に引下げ ↓ 10月1日 加算終了
	令和4年 10月 1日	コロナ回復後、引き続き入院加療が必要な患者を受入れた場合2倍に引上げ(1,900点)	
二類感染症患者療養 環境特別加算 新型コロナ患者を個室に入院させた場合	令和2年 4月 8日	算定開始(300点)	継続中(300点)
ハイケアユニット入院医 療管理料 重症の新型コロナ症患者について、特定集中治療室管理料等を算定する病棟に入院している場合	令和2年 4月18日	2倍に引き上げ(13,710点) ※14日限度	5月8日 1.5倍に引下げ(10,282点) ↓ 10月1日 1.2倍に引下げ(8,226点)
	5月26日	3倍に引き上げ(20,565点) ※15日以降も算定可能	
感染特例加算	令和3年 4月 1日	算定開始(10点)	-
	9月30日	算定終了	
ハイリスク妊娠管理加算 新型コロナに感染した妊婦について、ハイリスク妊娠管理を行った場合	令和3年 8月27日	算定開始(1,200点)	9月末日で終了

名称 説明	開始日	措置内容	令和5年5月8日 以降
ハイリスク分娩管理加算 新型コロナに感染した妊産婦で分娩を伴う入院中にハイリスク分娩管理を行った場合	令和3年 8月27日	算定開始(3,200点)	9月末日で終了

【外来関係】

名称 説明	開始日	措置内容	令和5年5月8日 以降
院内トリアージ実施料 新型コロナ患者に必要な感染予防策を講じた上で外来診療を実施した場合	令和2年 4月 8日	算定開始(300点)	10月1日 147点に引下げ
二類感染症患者入院診療加算 発熱外来を実施した場合 (標榜・公表必要)	令和3年 9月28日 令和4年 8月 1日 令和5年 3月31日	外来においても算定開始(250点) 初診のみ算定可能 算定終了	-
救急医療管理加算 1 新型コロナウイルス感染を疑う患者に対し、診療を実施した場合	令和3年 9月 7日 9月28日	中和抗体薬を投与した場合、算定可能(950点) 中和抗体薬を投与した場合、3倍に引上げ(2,850点)	5月8日 終了
	令和3年 9月28日	外来診療においても算定開始(950点)	5月8日 引下げ(147点) ※入院調整算定可能(950点) ↓ 10月1日 算定終了 ※入院調整引下げ(100点)
乳幼児(6歳未満)特例加算 6歳未満の乳幼児に対し、小児特有の感染予防策を講じた上で外来診療等を実施した場合	令和2年 12月15日 令和3年 10月 1日 令和4年 3月31日	算定開始(医科100点、歯科55点、調剤12点) 引下げ(医科50点、歯科28点、調剤6点) 算定終了	-
感染特例加算 手引き等を参考に感染予防策を講じた場合	令和3年 4月 1日 令和3年 9月30日	算定開始(5点) 算定終了	-
慢性疾患の診療(電話診察) 慢性疾患を有する定期受診患者に対して管理料に基づく管理を行う場合	令和2年 4月10日	算定開始(147点)	7月末日 算定終了

手当の支給について

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、本院における感染症患者等に対する業務が、感染のリスクに加え強度な精神的緊張等を伴う著しく特殊な業務であることなど、その業務の特殊性を踏まえ、以下の措置を講じました。

名称	内容	支給期間	金額
①特殊勤務手当の特例	新型コロナウイルス感染症患者の診療業務等（②は①を短時間勤務職員まで拡充したもの）	令和2年3月1日 ～令和5年5月7日	月額290円→3,000円 (※4,000円)
②特殊勤務報酬の新設		令和2年12月1日 ～令和5年5月7日	月額3,000円
③感染症対応手当	国の新型コロナウイルス感染症受入医療機関等緊急支援事業補助金を受け支給	令和3年3月18日	職種に応じ200,000円 又は50,000円
④感染症対応手当	業務の特殊性を踏まえ、医療現場で従事する職員に限定して支給	令和4年12月16日	50,000円

このほか、地域で新型コロナウイルス感染症や救急医療において一定の役割を担う医療機関の最前線で働く看護職員の給与を引き上げることが目的とする看護職員等処遇改善事業補助金を活用し、本院の看護職員の給与を月額で4,000円引き上げ（令和4年(2022年)2月～9月）、同年10月以降は、診療報酬によって措置されたことを踏まえ月額12,000円の引き上げを行いました。

また、これに合わせ令和4年(2022年)2月～9月の間、その他の医療従事者についても給与に同様の加算を行いました。

この財源の一部は、国や大阪府から補助金が交付されています。

◆ 手当の支給に係る補助金一覧

【令和2年度(2020年度)】

国/府	補助金名	決算額(円)	申請内容
国庫	新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	126,000,000	職員の新型コロナへの対応に係る人件費
大阪府	新型コロナウイルス感染症に係る特殊勤務手当支給事業補助金	19,302,000	職員が新型コロナに対処した場合における特殊勤務手当の支給に対する補助
〃	大阪コロナ重症センター等における医療従事者派遣事業補助金	575,000	大阪コロナ重症センターへの本院職員派遣に伴う人件費
計		145,877,000	

【令和3年度(2021年度)】

国/府	補助金名	決算額(円)	申請内容
大阪府	新型コロナウイルス感染症に係る特殊勤務手当支給事業補助金	19,518,000	職員が新型コロナウイルス感染症に対処した場合における特殊勤務手当の支給に対する補助
計		19,518,000	

【令和4年度(2022年度)】

国/府	補助金名	決算額(円)	申請内容
国庫	新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	4,500,000	職員の新型コロナウイルス感染症への対応に係る人件費
大阪府	看護職員等処遇改善事業補助金	11,563,000	新型コロナウイルス感染症や救急医療において一定の役割を担う医療機関の最前線で働く看護職員の処遇改善に対する補助
〃	新型コロナウイルス感染症に係る特殊勤務手当支給事業補助金	19,854,000	職員が新型コロナウイルス感染症に対処した場合における特殊勤務手当の支給に対する補助
	計	35,917,000	

特別休暇の付与について

職員の休暇について、新型コロナウイルス感染症に伴い不可抗力により出勤できないものとして、すべての職員（正職員、再任用職員、任期付職員、一般職非常勤職員及び特別職非常勤職員、臨時職員）を対象に、交通機関事故休暇として取り扱うこととしました。【令和2年(2020年)3月1日から令和5年(2023年)9月30日】

職員へのメンタルヘルスケアについて

【メンタルヘルス支援チームの設置】

本院の衛生委員会において、新型コロナウイルス感染症への対応による職員の心身の負担を踏まえ、メンタルヘルスケアを行うための検討チームとして、院内にメンタルヘルス支援チームを設置しました。

メンタルヘルス支援チームは、産業医、臨床心理士を中心に医療技術職や事務職を含む多職種で構成し、ストレス対処法やセルフケア方法等のメンタルヘルスに関する情報発信、メンタルヘルス不調の未然防止のためのストレスチェックや面談を実施しました。

また、健康通信（衛生委員会だより号外）を発行してストレスマネジメントやセルフケアの方法についての周知を行うとともに、全職員を対象に健康チェック票を配布して新型コロナウイルス感染症への対応についてのストレス状況の把握と高ストレス者への面談を実施しました。

【メンタルヘルス研修の実施】

新型コロナウイルス感染症への対応を含めた職員の労働安全衛生環境の向上のため、毎年度メンタルヘルス研修を企画し、外部より臨床心理士を講師に招いてグループワークを通じて職員がストレスに対するケアの方法を学ぶ研修を実施しました。

感染制御チーム（ICT）による各種サポートについて

院内に設置する感染制御チーム（ICT）では、ウイルスや検査等についての勉強会を開催し、また、検体採取方法や防護服の動画を作成するなど、職員が新型コロナウイルス感染症に対して正しい知識を身に付け、適正に対処するためのサポートを行いました。

作成した動画



陽性者の一次救命処置



PPE(防護服)の着脱



検体採取方法

ワクチン予防接種について

ワクチンの接種は、新型コロナウイルス感染症による死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図ることを目的として実施されたものですが、本院では、平成3年(2021年)3月を第1回目として接種を開始しました。

接種に先立ち、大阪医科薬科大学附属病院感染対策室長の浮村聡教授をお招きし、全職員を対象にワクチンに対する正しい知識を身に付けるための勉強会を開催しました。

また、院内に「新型コロナワクチン接種体制推進委員会」を組織し、接種方法や体制等について議論し、来るべき接種に備え、十分な準備と検証の上で実施しました。



接種の様子



接種後は待機。看護師が見回り



急変時に備え医師・看護師とベッドを配置

新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症については、令和5年(2023年)5月8日に感染症法上の取り扱いが5類へと引き下げられました。

しかしながら、大阪府の病床確保計画において、同年9月末までの間は移行期間として、それまでの6割程度の確保病床を持つこととされました。これを踏まえ、本院では感染拡大期で最大26床の病床を確保し、発熱外来に関しては引き続き継続して設置してきました。

その後、同年10月以降については、引き続き移行期間としつつも、病床確保にはよらずに感染患者を受入れることとされており、本院においても、引き続き感染患者を受入れる体制を整えているところです。

令和6年度(2024年度)以降の取り扱いに関して、現時点で不透明ではありますが、国や大阪府の動向を踏まえつつ、適切に対応していく必要があると考えています。

新興感染症への備えについて

新型コロナウイルス感染症に限らず、今後も新型インフルエンザ等、新たな感染症の発生する可能性があることから、そうした場合の考え方を令和5年(2023年)3月に策定した「市立ひらかた病院経営強化プラン(第3次中期経営計画)」にも盛り込んでいくところです。その中にも記載のとおり、発生時には大阪府と連携した対応を行っていくこととなりますが、今回の新型コロナウイルス感染症への対応で得た経験を踏まえ、備蓄品の確保やマニュアルの更新など、新興感染症拡大時にも対応できる備えに努めます。

【感染症法に基づく大阪府との医療措置協定】

令和3年(2021年)の医療法改正により「新興感染症発生・まん延時における医療」が追加され、令和4年度(2022年度)には感染症法改正により、平時に都道府県と医療機関がその機能や役割に応じた協定を締結する仕組み等が法定化されました。

これを受け、現在、大阪府と医療措置協定締結に向けた調整を行っているところです。

この医療措置協定は、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症又は新興感染症を対象とし、令和6年度(2024年度)からの大阪府第8次医療計画における感染症予防計画として盛り込まれるものです。

本院については、主に病床確保の役割を担うこととなっており、新型コロナウイルス感染症への対応時と同等の病床の確保が求められています。

<参考：確保予定数(未確定)>

	確保病床	うち小児
流行初期期間	30床	6床
流行初期期間経過後	42床	8床

本院へのご寄付について

今回の新型コロナウイルス感染症への対応に関し、寄付金や医療資材など、様々な企業・団体・個人の皆様から多数のご寄付をいただきました。

皆様からの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

(公表に同意された方のみの掲載としています。また敬称は省略させていただいています。)

【寄付金】

日付	提供いただいた団体様等	金額(円)
R2. 4. 21	市民(個人)	30,000
R2. 4. 30	市民(個人)	50,000
R2. 5. 22	生活協同組合 おおさかパルコープ	3,000,000
R2. 6. 4	川端 繁治 様	20,000
R2. 6. 30	市民(個人)	100,000
R2. 8. 28	大阪よどがわ市民生活協同組合	210,000
R2. 9. 16	市民(個人)	100,000
R2. 10. 22	(株)三橋商会 京銀 SDGs 私募債 『医療にエール』発行記念 ((株) 京都銀行)	54,000
R2. 10. 28	(株)近畿住宅流通	500,000
R2. 11. 26	(公社)全日本病院協会	1,500,000
R2. 12. 8	下野 克博 様	100,000
R2. 12. 21	大和金属工業(株)京銀 SDGs 私募債 『医療にエール』発行記念 ((株) 京都銀行)	76,000
R3. 1. 6	市民(個人)	50,000
R3. 2. 12	枚方ローズライオンズクラブ	1,000,000
R3. 2. 17	(株)京銀 SDGs 私募債 『医療にエール』発行記念 ((株) 京都銀行) ※以降、京銀の申し出により企業名非公表	152,000
R3. 3. 10	共英製鋼(株)	1,000,000
R3. 3. 15	市民(個人)	50,000
R3. 3. 19	(株)京銀 SDGs 私募債 『医療にエール』発行記念 ((株) 京都銀行)	92,000
R3. 4. 14	市民(個人)	20,000
R3. 4. 22	(株)京銀 SDGs 私募債 『医療にエール』発行記念 ((株) 京都銀行)	76,000

日付	提供いただいた団体様等	金額(円)
R3. 5. 6	市民(個人)	30,000
R3. 7. 28	国際ソロブチミスト大阪-北東	15,000
R3. 7. 28	国際ソロブチミスト枚方-中央	115,000
R3. 9. 22	(株)京銀 SDGs 私募債 『医療にエール』発行記念 ((株) 京都銀行)	76,000
R3. 10. 28	(株)京銀 SDGs 私募債 『医療にエール』発行記念 ((株) 京都銀行)	130,000
R3. 11. 18	(株)京銀 SDGs 私募債 『医療にエール』発行記念 ((株) 京都銀行)	112,000
R3. 12. 27	市民(個人)	100,000
R4. 2. 7	国際ソロブチミスト枚方-中央	100,000
R4. 2. 21	(株)京銀 SDGs 私募債 『医療にエール』発行記念 ((株) 京都銀行)	152,000
R4. 3. 4	三菱UFJ フィナンシャル・グループ	1,500,000
R4. 3. 17	(株)京銀 SDGs 私募債 『医療にエール』発行記念 ((株) 京都銀行)	92,000
R4. 4. 22	(株)京銀 SDGs 私募債 『医療にエール』発行記念 ((株) 京都銀行)	76,000
R4. 5. 25	(株)京銀 SDGs 私募債 『医療にエール』発行記念 ((株) 京都銀行)	46,000
R5. 2. 21	(株)京銀 SDGs 私募債 『医療にエール』発行記念 ((株) 京都銀行)	92,000

【マスク】

日付	提供いただいた団体様等	数量等
R2. 4. 22	市民(個人)	50
R2. 5. 19	摂南大学 看護学部	800
R2. 5. 29	ロート製薬(株)	2,000
R2. 6. 4	(株)アカカベ	5,000
R2. 6. 30	(株)ファーストリテイリング	3,000
R2. 6. 30	(特非)ピ-スウィズ・ジャパン	N95 720

日付	提供いただいた団体様等	数量等
R2. 9. 1	(公社)大阪府看護協会	2,000
R2. 10. 5	(一社)枚方市医師会	1,000
R3. 1. 4	阿多こども園	手作り 100
R3. 5. 7	市民(個人)	140
R3. 8. 20	(株)ショウワ	600
	市民・団体等 11件	1,671

日付	提供いただいた団体様等	数量等
R2. 7. 8	(公社)大阪府看護協会	2,000
R2. 7. 17	(株)ファーストリテイリング	3,000
R2. 7. 20	(公社)大阪府看護協会	400

日付	提供いただいた団体様等	数量等
	市民・団体等 9 件	N95 751
	市民・団体等 1 件	600

【防護服・レインコート等】

日付	提供いただいた団体様等	品名	数量
R2. 4. 15	(公社)枚方市スポーツ協会	レインコート	31
R2. 5. 11	(株)GLASEL	レインコート	200
R2. 5. 19	摂南大学 看護学部	ガウン	10
		エプロン	120
R2. 5. 22	共英製鋼(株) (株)共英メソナ	防護服	500
R2. 5. 22	市民(個人)	エプロン	100
R2. 5. 29	ロート製薬(株)	手術着	100
R2. 6. 11	(株)ファーストリテイリング	アイソレーションガウン	10,000

日付	提供いただいた団体様等	品名	数量
R2. 6. 18	(公社)全日本病院協会	アイソレーションガウン	200
R2. 7. 30	(一社)枚方市医師会	アイソレーションガウン	400
R2. 9. 1	(公社)大阪府看護協会	アイソレーションガウン	400
R2. 10. 5	(一社)枚方市医師会	アイソレーションガウン	500
R3. 3. 31	市民(個人)	アイソレーションガウン	20
	市民・団体等 3 件	レインコート	126
	市民・団体等 4 件	防護服	433

【その他】

日付	提供いただいた団体様等	品名	数量
R2. 4. 24	Toe's company	お米	2.7Kg
R2. 5. 1	セブンイレブン	飲食料・製菓・カップラーメン	1 式
R2. 5. 2	(特非)枚方文化観光協会	飲食料	1 式
R2. 5. 7	(株)ドミノ・ピザ・ジャパン	飲食料引換券	20 枚
R2. 5. 11	(医)藤立病院	エアロゾルボックス	1 個
R2. 5. 13	京セラドキュメントソリューションズ(株)	フェイスシールド	65 枚
R2. 5. 14	(株)伊藤園	飲料等	720 本・1,000 パック
R2. 5. 15	ムツミ印刷(株)	フェイスシールド	75 枚
R2. 5. 15	(一社)大阪府歯科医師会	衛生用品	80 式
R2. 5. 19	(株)宇治森徳	ティーバック詰め合わせ	1 式
R2. 5. 19	(株)アカカベ	栄養ドリンク	1,000 本
		キャップ	100 枚
		アルコール綿	100 枚
R2. 5. 19	摂南大学 看護学部	グローブ	680 枚
R2. 5. 20	森永製菓(株)	栄養補給ゼリー	720 本
R2. 5. 22	大阪大学次世代内視鏡治療学共同研究講座	フェイスシールド	300 枚
		クリアファイル	300 枚
R2. 5. 22	コカ・コーラ(株)	飲料	1,920 本

日付	提供いただいた団体様等	品名	数量
R2. 7. 15	日本コカ・コーラ(株)	飲料	1,920 本
R2. 7. 20	(公社)全日本病院協会	アンダーウェア	60 着
		保湿クリーム	8 本
R2. 7. 21	第一生命保険(株)ひらかた営業オフィス	千羽鶴	1 束
R2. 7. 30	(一社)枚方市医師会	グローブ	1,300 双
R2. 8. 6	(株)ユニオン	空気除菌・脱臭器	2 台
R2. 9. 1	(公社)大阪府看護協会	お菓子	一式
R2. 9. 4	(一社)大阪府医師会	ボディシート	240 パック
R2. 10. 5	(一社)枚方市医師会	フェイスシールド	200 枚
R2. 10. 22	(公社)日本 WHO 協会	応援メッセージ	2 組
R2. 10. 22	(一社)生産技術振興協会	ハガキパネル	2 枚
R2. 12. 4	森下仁丹(株)	飴	一式
R2. 12. 21	日本コカ・コーラ(株)	飲料	2,640 本
R2. 12. 23	(株)マンダム	除菌・消臭スプレー	90 本
R2. 12. 25	(一社)枚方市医師会	グローブ	600 枚
R3. 1. 4	阿多こども園	手作りマスク	一式
		メッセージ	一式
R3. 2. 16	(株)伊藤園	飲料	1,200 本

日付	提供いただいた 団体様等	品名	数量
R2. 5. 26	(株)マルシゲ	製菓	72 袋
R2. 5. 28	(一社)枚方市医師会	エタノール	18L
R2. 5. 29	ロート製菓(株)	ハンドクリーム	144 個
		リップクリーム	480 本
		グローブ	1,600 枚
R2. 6. 1	Kannon Wedding	製菓	480 個
R2. 6. 1	神道青年近畿地区連 絡協議会	メッセージポス ター	10 枚
		ビニールキャ ップ	500 枚
R2. 6. 2	(一社)経営者支援ネ ットワーク	フェイスシール ド	180 枚
R2. 6. 3	市民(個人)	絵葉書	60 枚
R2. 6. 5	(一社)大阪府医師会	感染防止セット	80 式
R2. 6. 18	ワークス建築事務所	フェイスシール ド	200 枚
R2. 6. 18	(株)日立製作所	フェイスシール ド	100 枚
R2. 6. 30	(株)ファーストリテ イリング	アンダーウェア	700 着
R2. 7. 8	(公社)大阪府看護協 会	製菓	10 箱
R2. 7. 10	(一社)大阪府医師会	冷却スプレー	96 本
R2. 7. 13	(株)伊藤園	飲料	240 本
		ティーパック	1,000 個
		ほうじ茶ステ ィック	1,000 本

日付	提供いただいた 団体様等	品名	数量
R3. 3. 8	(株)エーキューブ	カレンダー	10 部
R3. 6. 8	くずはロータリーク ラブ	コーヒーメーカ ー等	一式
R3. 6. 11	合同会社ユ一・エ ス・ジェイ	お菓子	240 箱
R3. 7. 1	(株)宇治森徳	お茶	16 パック
R3. 7. 26	(株)学研メディカル サポート	書籍	3 冊
R3. 10. 13	(一社)大阪府医師会	フェイスシール ド	600 枚
R3. 10. 21	市民(個人)	電動アシスト三 輪自転車	1 台
	市民・団体等 7 件	フェイスシール ド	300 枚
		除菌スプレー	140 本
		ゴム手袋	40 枚
		手指消毒	1 本
		カレンダー	20 冊
		不織布キャップ	5 枚
		防護メガネ	2 個
		消毒液	400ml
		製品セット	100 セット
		製菓	一式
		飲料	306 本
		書籍	34 冊